

NACCSプログラム変更要望一覧（2023年度分）（その他案件）

※グレーにハイライトは重複案件

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-001	貨物	ACH	他社が仮に誤ってACHを実施した場合でも、速やかにこれを是正可能となるようにして頂きたい。 加えて、エラー表示についても是正頂きたい。 現行ではエラーコード「E0003(資格なしといったもの)」と表示されますが、利用者側では何が起きているのか不明確であり、不適切と考えます。	通常、このエラーで疑うのは、ACHが実行できる「航空会社」以外の利用者IDで実施したことが理由と読み取れる。(例えば、保税蔵置場の利用者コード等)	実態にあったエラーコードを新設、もしくは、既存のもので該当するエラーコードに変更頂き、事象発生時に原因特定を容易に出来るよう検討頂きたい。 発生頻度としては、極めて稀（2010年10月以降、これまでに弊社では2020年の1回のみ発生）、しかしながら、業務インパクトは非常に大きい事を考慮頂ければ幸いです。	NACCS上の突合が不可であり、航空貨物であるにも関わらず、速やかな貨物の引き渡ししが不可となる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-002	貨物	ACH PKG FLI	同じ外国貨物が同一空港に複数回仮陸揚げされるケースで、二回目以降の仮陸揚貨物の到着がNACCS側の輸入側ファイルの保存期間（前の仮陸揚貨物が搬出されてから約7日）を越えて、尚且つ輸出側のファイルの保存期間（前の仮陸揚貨物が搬出されて約14日）以内の時に、ACHは同じ番号で受け付けるのに、FLIで航空機に搭載・CLA搬出できない状態を解決して頂きたい。	① 実際に搭載された便と該当貨物を監視・取締部門へ報告及び電磁式搬出台帳へ手動による記帳 ② 発生事由とNACCS上の蔵置在庫情報と現状とに違いがある事を保税・取締部門(非開庁時間帯は特通部門)へ報告 ③ 保税・取締部門へ搭載便登録不可貨物のNACCSデータを削除依頼	NACCSの輸入側保存期間と輸出側保存期間を統一して頂くか、搬入できた同一貨物複数回仮陸揚貨物を搬出する際の総個数リミットチェックを何らかの作業で外せるオプションを設けてほしい。	税関各部門への報告・説明・データの削除依頼業務がシステムを使用できずに行うため窓口での業務が発生しております。それらをNACCS上で普通の仮陸揚貨物ハンドリング業務として行えば、移動を伴う窓口業務を軽減ができ、作業軽減が図れます。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-003	貨物	ACL01	船社代理店としてACL情報を海貨業者(通関業者)より入手しております。書類のCUT日時を過ぎてもACLが未着で集荷代理店へ未着の通知を日々行っております。現在は航路毎(本船特定可)の入港ヤードやCUT日時及び通知先コードをホームページ等でご案内しております。しかしながら未だに未着の連絡を1件ずつ電話(送付者の電話番号を集荷代理店に尋ね)にて問い合わせをし送付してもらう様要請しております。何とか現状を打破べく対策を行いたいと思慮し今回要望として提案させていただきます。	ACL情報の受信 (SAT1401, SAT1411, SAT1421, SAT1451, SAT1461, SAT1471)	①ACL送付時通知先コードが間違えている場合送付者へエラーメッセージを返す(通知先をプルダウンし選択できる様にする) 航路リストと本船リスト及び通知先コードリストや送付者リストとの相互リンクが必要と思われる。 ②ACL未着の場合海貨業者(通関業者)へACL未着の連絡案内を通知できる様にして欲しい(送付者をプルダウンし選択できれば尚良いです)海貨業者(通関業者)である送付者へのコンタクト(未着なので通知先コードを確認願う等の案内)したい(NACCSでなくても良い)③ACL送信時アタッチ類(添付書類)の添付可能にして欲しい(現在別途メール、FAXで送付してもらっている)	要望事項①②を解決できれば141件/月(平均)の未着問合せが無くなり、電話連絡にして1件10分(平均)として1410分(23.5h)の削減が行えます。未着の追出し業務に時間を取られている現状を解決したいと思う船会社代理店(同業者)は多くあると思慮致します。(※未着の追出し業務は無しが基本と思いますが...)なお、③の添付書類の件数は425件/月程度あると思慮します。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-004	貨物	ACL01	ACL入力画面の改善	入力タブが多く入力しづらい	入力タブをできるだけ少なくし、また入力画面のスクロールも極力避けてほしい。	入力漏れ、入力ミスが減る	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-005	貨物	ACL01	アラート表示	誤って未SAVEでX印を押してしまう。	画面閉じる際の「保存要否」(「例」SAVEしますか?) 注意気付きアラートが画面にポップアップ	入力事項の消去防止。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-006	貨物	ACL01	アンダーバー"_"を入力可能とする事を希望	ONEJ社では"underscore" or "underbar"と入力して貰う事により船社側で"_"にマニュアル変更しによる	荷主側で入力するACLにアンダーバー"_"を入力可能とする変更要望	誤処理・処理漏れを防止し、根本的に本来必要な入力情報を依頼者が直接入力出来る環境構築(入力文字数制限の活用(同制限により入力不可情報有り))	第7次NACCS更改において対応予定
R04-007	貨物	ACL01	荷主連絡先メールアドレス入力容量増加(例えば200文字や200文字など)	現在70文字の制限有り	荷主から多数の(個人)アドレス入力要望有り	別途、メール等で連絡・問い合わせる必要無し	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-008	貨物	ACL01	禁止文字のアンダーバーを入力可能文字として頂きたい。	アンダーバーが入力不可	アンダーバーを入力可能	貨物の品名に使用されるアンダーバーが入力不可につき、ハイフン(-)に置き換えてACL作成の為。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-009	貨物	ACL01	改行キーを使用可能として頂きたい。	改行キー使用不可	改行キー使用可能	改行キー使用不可なため、Description of Goods欄入力の際、スペースキーで改行している為。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-010	貨物	ACL01	元に戻すタブを追加して頂きたい。	元に戻すタブ無し	元に戻すタブが必要	エクセル同様、元に戻すタブがあれば入力効率が上がる為。	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-011	貨物	ACL01	重量・容積不一致の注意喚起メッセージをエラーメッセージとしてほしい。 送信完了前に不一致を訂正したい。	共通部の合計重量/容積と繰返部の各コンテナの合計重量/容積に不一致がある場合、W0001/W0002の注意喚起メッセージが表示されるが、データは不一致のまま送信を完了してしまう為、船社へ訂正手配を行う必要がある。	重量・容積不一致の場合は、送信完了後のメッセージ表示ではなく、エラーとしてほしい。またはワーニングとともにそのまま送信するのか確認画面が表示され、訂正後に送信をかけられるようにする等、不一致を訂正してから送信することが可能となるよう仕様を変更してほしい。	誤入力防止となる。 入力ミスによる船社・代理店への訂正依頼が減り、海貨および船社の訂正作業にかかる労力・時間削減につながる。 送信前にチェック・訂正が可能となれば、現在入力時に手計算で行っている繰返部の重量・容積合計の確認作業を省くことができ、作業時間の短縮につながる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-014	貨物	ACL02	共通部1の独立	共通部1は画面半分が共通部2-4と同居しているように見にくい	共通部1もタブ表示にする	共通部1は画面半分が共通部2-4と同居しているように見にくい	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-015	貨物	ACL02	車台番号Over時の枝番70~の代替	5次更改の車体番号情報追加に際し仕様代替案をNACCS/邦船3社が運用を摺り合わせた。 https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/files/00113014/aci02_2.molu.pdf	枝番と被らない仕様を希望	当時と変わり1Bookingで枝番100件(70番台以降)以上のACLが増えたため、システム側でエラーとなる	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-016	貨物	ACL02	船会社・船舶代理店の追加	新設・新規追加要望		マニュアルデータをRPAで取り込みACLで処理したい。 DX対応で100%EDI(データ化)を目指したい。 また、Space Charter等船社間で船積用S/Iの引き渡しがあり現在マニュアル作成となっているのをEDI化したい。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-017	貨物	ACL02	繰返部02の入力項目の追加	車体番号/エンジン番号の項目のみ	車体/エンジン番号に対するMAKER/MODEL/YEAR/LWH/M3/KGS/HS-CODE/Remark欄追加	外地税関で車体ごとの詳細情報をもとめられているがACLに項目がないため別途アタッチシート(紙)で受け取っている情報のデータ化、マニュアル対応削減の効果。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-018	貨物	ACL02	アンダーバー、~セルダを荷主連絡先メールアドレス欄のみならず、SHIPPER, CONSIGNEE, NOTIFY, MARKS、品名欄でも同じ様に使用可能としてほしい。	アンダーバーやセルダは、NACCSに入力できない為、入力が必要な場合は都度海貨様から依頼を頂いている状況。	アンダーバー、~セルダを荷主連絡先メールアドレス欄のみならず、SHIPPER, CONSIGNEE, NOTIFY, MARKS、品名欄でも使用可能にしてほしい。	海貨様から都度依頼を頂いて自社システムにて対応しているが、入力できるようになれば、この作業が不要となり業務効率化につながる。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-019	貨物	ACL02	共通部2:品名が複数に渡る場合、品名毎の個数の合計が自動で合計個数に出力される様にして欲しい。	Seq毎のPKG数とTOTAL PKG数がリンクしていない。(NO.1別添の赤枠を参照)	Seq毎のPKG数合計とTOTAL PKG数が合致するようにするか、合致しない場合はWarning等で入力者に注意喚起して欲しい。	台数カウントを誤ると、本船船積みPLANIに影響する為。	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-020	貨物	AMA	輸出入の許可書同様に、修正申告に荷主セクションコードおよび荷主Ref Noを入力をしたい	修正申告の入力項目に上記内容が入力できない	NACCSの入力画面上で、荷主セクションコードおよび荷主Ref Noの欄を増やしてほしい。またNO.2と同様に輸入申告時と同様の荷主セクションコードと荷主Ref Noが自動で入力されるようにしたい。	荷主セクションコードと荷主Ref No.で輸入許可書の管理をしているお客様が多い。当初の輸入申告書と修正申告が紐づけができるようになれば書類管理がし易い。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-021	貨物	BIC	業務実施後の出力情報コードを、6桁以下の半角英数字にしていだきたい。	出力情報コードは、「*BIC」であり、これは記号を含んでいる。自動印刷の設定をしたいが、「出力情報コードは6桁以下の半角英数字を指定してください。」とエラーが出てしまう。都度手動で印刷ボタンを押している	業務実施後の出力情報コードを、6桁以下の半角英数字にしていだくことで、自動印刷の設定時、「出力情報コードは6桁以下の半角英数字を指定してください。」というエラーを回避したい。	業務実施後の出力情報コードを、6桁以下の半角英数字にしていだくことで、自動印刷の設定時、「出力情報コードは6桁以下の半角英数字を指定してください。」というエラーを回避したい。 効果: 都度印刷ボタンを押す作業を排除できる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-022	貨物	BOC	BOC(搬出確認登録)の搬出日に関するエラーの設定	BOC搬出日の差が7日以上ある場合、注意喚起機能があるが搬出できる	BOC(搬出確認登録)をする際、1年以上前の搬出日が入力された場合は、受付ないようにしてほしい。	年始の際、年数を打ち間違える可能性が多いため。年始の時、年数を打ち間違えて搬出してしまい、後日気が付いたが搬出取消が出来なかった為、税関へ相談し、マニュアル訂正を行った事がある。(税関担当者もロックがかかればいいのにねって言っていました)	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-023	貨物	BOC	同じ船名コードで通関済みのものをまとめて入力できるような仕組みが欲しいです。	輸出管理番号毎に手入力する仕様。また搬出量、重量も手入力。	同じ船名コードで通関済みのものは、搬出日だけ入力すれば、搬出重量、搬出数量は自動で入力されるような仕様が欲しい。	同じ船名コードのものは、ほとんどが同じ搬出日、全量搬出するからです。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-024	貨物	CHC	CHC	現行の仕様では、内容点検の取り扱いキャンセルを行う際、CHC後にHCCを実施している。	CHC後に自動で1回取り扱い減算が出来る仕様を望む。	作業効率化、労力と時間の削減効果。(使用頻度=週1回)	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-025	貨物	CLA	CLAでの送信可能件数を増やしてほしい。	CLAは現在一度に送信できる件数が20件となっている。	AWB件数が多量にある場合、一度に全ての件数を送信出来るようにしてほしい。	AWBの送信漏れによるミスの軽減。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-026	貨物	CLA	CLAでの訂正業務の追加	訂正が行えない為、システム上での再申請は出来ない。	送信後でも訂正できる業務の追加。	誤申告の軽減、処理負荷の軽減。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-027	貨物	CLR	Call Sign、積港にヒモ付くBOCの一括呼び出し >> 登録業務ができる業務の新設希望	新設・新規追加要望	CALL SIGN+積港で搬出確認がなされているBOCを呼び出しそのままCRL業務を行えるようにする	CYと違いBOC情報とコンテナ(現物)の対査ができず、B/L番号・Booking番号の記載もないので輸出管理番号しか手掛かりがない。未着の確認もできず、キャンセル・本船変更の情報が判らずエラーとなる場合もあり手探り状態で行っている。また、CRL/CCL漏れで税関から指摘される。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-028	貨物	CMR11	CMR12?のような業務コードを作って欲しい	CMR11にてDMF前までのみ呼び出し、処理可能。	DMF後も出港前報告の追加申請が必要になるケースがある。手入力ではなく、CMR11>>DMF後はCMR12を新設?から処理を進めたい。	手入力での誤入力防止、作業時短、効率UP。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-029	貨物	DOR	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の“9”の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があった場合エラーとして送不可とすること変更希望。	DORした際に、Yを入力しなくてもデータ送信可能。(エラーにならない。)	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の“9”の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があった場合エラーとして送不可とすること変更希望。	DORがされているにも関わらず、“Y”表示が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-030	貨物	DOR	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の“9”の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送信不可とすること変更希望(必須入力箇所とする)	通知先空欄でもデータ送信可能。(Yは表示されるが、ターミナルに通知されない?)	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の“9”の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送信不可とすること変更希望(必須入力箇所とする)	通知先が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-031	貨物	DOR	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されること変更希望。 =船社IDをもつてであれば誰でも閲覧可	TOP画面の検索文字列からB/L検索して通知先を確認しているが、最新で行った業務コードが表示される為、ICGが表示された場合、再度、DORを探して確認している。ただし、送信者端末でのみ検索可能の為、DOR処理を行った担当者しか確認できない。	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されること変更希望。 =船社IDをもつてであれば誰でも閲覧可	・通知先を表示させることで確認作業の軽減、時間短縮 ・船社IDを持つメンバーが通知先を閲覧できることで処理担当者が不在でも処理状況確認可能	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-032	貨物	DOR	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可とすること変更希望。	DORした一画面ごとにBL件数を確認し、当日のDOR処理件数と手元書類の処理の一致を確認している。	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可とすること変更希望。	担当者自身で認識しているBL処理件数との一致確認が容易になる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-033	貨物	DOR	BL No. 及び通知先等を、10件纏めてCopy&Past出来るよう変更希望。	10件纏めて再DORを行う際、1BLずつBL No. 及び通知先を入力している。	BL No. 及び通知先等を、10件纏めてCopy&Past出来るよう変更希望。	入力・貼り付けミスの軽減。時間短縮。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-034	貨物	DOR	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の“9”の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があったらエラーとして送信できないようにしたい。	DORした際に、Yを入力しなくてもデータ送信可能。(エラーにならない) ICG画面で確認してもYは表示されない。	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の“9”の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があったらエラーとして送信できないようにしたい。	DORがされているにも関わらず、“Y”表示が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-035	貨物	DOR	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の“9”の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送信できないようにしたい。(必須入力箇所とする)	通知先空欄でもデータ送信可能。(エラーにならない) ICG画面で確認してもY表示されない。	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の“9”の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送信できないようにしたい。(必須入力箇所とする)	通知先が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-036	貨物	DOR	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可としてほしい。	DORした一画面ごとにBL件数を確認し、当日のDOR処理件数と手元書類の処理の一致を確認している。	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可としてほしい。	担当者自身で認識しているBL処理件数との一致確認が容易になる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-037	貨物	DOR	BL No. 及び通知先等を、10件纏めてCopy&Past出来るようにしてほしい。	10件纏めて再DORを行う際、1BLずつBL No. 及び通知先を入力している。	BL No. 及び通知先等を、10件纏めてCopy&Past出来るようにしてほしい。	入力・貼り付けミスの軽減。時間短縮。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-038	貨物	DOR	BL番号入力欄に指定文字の固定表示。	全BL共通の頭文字“ONEY”を1件ずつ追加入力している。(船社独自システムでは入力不要)	BL番号入力欄に指定文字の固定表示してほしい。(船社IDにてログインしている為、そこから指定文字(ONEY)を固定表示対応することはできないか?)	船社独自システムに入力した番号をコピー後そのまま追加入力なしにペースト出来、入力作業時間短縮となる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-039	貨物	DOR/ICG	NVOCC業者もカーゴリリース可となるフラグ“Y”立て/“Y”取り消しをできるようにしたい。	現在は船会社(またはCY)にてチャージの振り込み、B/Lの回収確認後、船会社(またはCY)によりのみ“Y”立てができる仕様になっている。NVOCC業者にはその権限がなく、船会社がY立てをすると、間にあるNVOCCはB/L回収やチャージの回収前でも物理的に貨物が引き取られてしまう。	船社(またはCY)が“Y”立てを実施後、NVOCC業者の手でN、又はY立てができるようにしていきたい。	現行、NVOCC業者は貨物のホールドとY立てを船会社に都度連絡をして対応している。NVOCC業者自身のB/L・チャージの回収によりアクチュアル輸入者へのリリース可否	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-040	貨物	HPK	HAWBがスプリットした際において、MAWB番号が異なる場合でも「混載貨物確認情報登録(HPK)」業務を実施可とする。	1HAWBは必ず1MAWBに混載仕立てされていることが前提となっており、「HAWB情報登録(輸入)(HCHO1)」業務はHAWBに対して1回のみ行う流れとなっている。	同一HAWBに対して複数MAWBのHPKの登録を行うことを可能とする	1HAWBが複数MAWBで到着する場合にはシノニムで突合させてから元番号のHAWBのCAIを行ったりOIN業務実施後にHPK登録を行う必要が現状ではあるが、本改修を行うことで速やかに到着便情報をNACCSに登録することが可能となり、より円滑は貨物の流通に資することが見込まれる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-041	貨物	HYS	①「HYS」業務にてマニュアルの貨物取扱い申請書(C3110)を提出するようにしてほしい。また、この場合必ず図面等の必要書類も添付できるようにしてほしい。②通関・保税両方ともに「その他」項目の追加を強く要望します。③その他、税関様式のあるものは、HYSで添付できるように改善してほしい!	①②HYSには項目が存在しない。③税関様式のあるものでも必要書類を添付できないため、実際にはHYSを利用できないことが多い。全般に言えることだが、正直、実務に寄り添っておらず、細部にも配慮がなされていないと思います。	①貨物取扱い申請をシステムで申告する場合、税関から添付書類の提出を求められているのに、「CHD」業務では対応していない。そのため、税関からHYSで貨物取扱い申請書(C3110)を提出するように要請された。②「HYS」業務本件以外のにも税関との交渉の結果、HYSで提出しようとしても、「その他」の項目がないために、結局対面で提出することになります。従って、通関・保税両方ともに「その他」項目の追加を強く要望します。③その他、税関様式のあるものは、HYSで添付できるように改善してほしい!	①貨物取扱い申請をシステムで申告する場合、税関から添付書類の提出を求められているのに、「CHD」業務では対応していない。そのため、税関からHYSで貨物取扱い申請書(C3110)を提出するように要請された。②「HYS」業務本件以外のにも税関との交渉の結果、HYSで提出しようとしても、「その他」の項目がないために、結局対面で提出することになります。従って、通関・保税両方ともに「その他」項目の追加を強く要望します。③実務に寄り添ったシステムになると思います。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-042	貨物	IAL	船会社 Call Sign、Booking番号の一部で複数照会(一覧)可能な新規業務を希望	IALでは一件毎、完全にマッチした番号の呼び出しのみ	ACL情報をIMIの様に(いろいろな検索方法で)照会可能な業務の追加希望	海貨から、間違えたCALL SIGNだったり、船会社が振り出したBooking番号以外でACLを送付してることがあり 入力内容が間違っていてエラーとなっても自社システム上では検知できず、IALで検索もできない。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-043	貨物	ICG	税関手続き進捗状況がわかる様にしてほしい	現在は申告種別、申告番号、申告日、審査終了日、許可日のみ	I AWと同様に、申告時間、許可時間等を時間単位にて進捗状況を知りたい	申告時間、許可時間が早いか遅いかの判断基準がわからない。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-044	貨物	ICG	以前も記入したが、業務リンクから変更画面へのリンクをお願いしたい。	業務リンクは参照画面が主。	例えば許可承認番号より「SOT」画面へのリンクがあれば活用の幅が広がる。	作業の軽減、効率を上げるため。また誤入力などを防止。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-045	貨物	ICG	ICG画面でも「荷渡地」を表示していただきたい。	船卸港の表示はあるが、荷渡地の表記はない。	例えば、船卸港がTY0・荷渡地がYOKの場合、ICGでは船卸港のTY0のみ反映されているので、荷渡地をすぐに確認できない。(CMF11やCMF12で確認している)	作業の軽減、効率を上げるため。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-046	貨物	ICG	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されるようにしてほしい。 ＝船社IDをもつ人であれば誰でも閲覧可	TOP画面の検索文字列からB/L検索して通知先を確認しているが、最新で行った業務コードが表示される為、ICGが表示された場合、再度、DORを探して確認している。ただし、送信者端末でのみ検索可能の為、DOR処理を行った担当者しか確認できない。	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されるようにしてほしい。 ＝船社IDをもつ人であれば誰でも閲覧可	・通知先を表示させることで確認作業の軽減、時間短縮 ・船社IDを持つメンバーが通知先を閲覧できることで処理担当者が不在でも処理状況確認可能	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-047	貨物	ICG	BL番号入力欄に指定文字の固定表示。	全BL共通の頭文字「ONEY」を1件ずつ追加入力している。(船社独自システムでは入力不要)	BL番号入力欄に指定文字の固定表示してほしい。(指定文字「ONEY」をデフォルト表示してほしい。船社IDにてログインしている為、そこから指定文字ONEYを固定表示対応することはできないか?)	船社独自システムに入力した番号をコピー後そのまま追加入力なしにペースト出来、入力作業時間短縮となる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-048	貨物	ICG	貨物情報照会について	貨物蔵置場側で搬入登録をした場合、事前に登録をすれば、自動的にICGが受信できるように変更できませんでしょうか?			第7次NACCs更改において対応予定
R04-049	貨物	ID1 IES	輸入申告等一覧照会、輸出申告等一覧照会。営業区域撤廃に伴い、様々な官署に申告が可能となっております。宛先官署コードをブランクとして送信した場合は、自社での申告を全官署分表示としてほしい。	現在は官署コードを入力することで照会できる。複数ある場合はそれぞれの官署コードごとに照会している。	例えば、41(大阪南港)、5E(名古屋西部)、1F(東京大井)などで申告を照会したい場合、それぞれで照会業務を実施するため3回送信することになります。これを官署をブランクとして送信した場合は、自社分を一覧照会表示してほしい。	複数回の送信の工数が減ります。また全官署一覧にすることで各港の申告/審査状況が確認できます。	第7次NACCs更改において対応予定
R04-050	貨物	IM, BOA, BIA	蔵入承認後の貨物情報をシステム化	蔵入承認後の貨物情報が、システム外となる為、管理資料電文に反映されず、搬出・搬入業務及び保税台帳業務がマニュアル処理となる。	IDA(SID)の蔵入承認後、移入承認した貨物情報がマニュアル化される事なく、貨物情報を継続して使用できる事を要望	保税台帳記帳業務において、税関窓口での書面によるマニュアル処理等が不要となり、貨物資料電文を使用した記帳業務を行う事ができる。	第7次NACCs更改において対応予定
R04-051	貨物	IMA, IWH	IMA、IWH ※以前挙げさせて頂いた要望と同じ内容です。	IMA、IWH業務照会結果は20件毎表示、印刷が可能	IMA、IWH情報をCSV形式で一覧を出力可能としたい。	業務効率化(使用頻度＝毎日)	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-052	貨物	IMI-C	空パンと実入りパンを区別、かつ本揚げ、仮陸揚げを区別して表示(抽出)出来るようにしてほしい。	船舶CODE、揚げ地で縛ると、現在は空/実の全てが表示され、ソートも不可能。	空パンにおいて、23>28(本揚げ>仮陸揚げ)へ変更する機会が多く、IMI-Cの画面で空パン、かつ仮陸揚げの本数を特化して確認したい。	誤登録防止、W-CHECK時の短縮、効率UP。 右事象発生頻度：件数は11～100件/月としたが、コンテナ本数ベースでは101～1000本/月の発生頻度。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-053	貨物	IMI-T	包括削除をまとめて行えるようにしたい。	CMF11及びCMF12で呼び出して包括保税運送番号、運送具、到着地の保税地コードをマニュアルで消している。	IMI-Tの照会画面でチェックボックスを追加し、チェックを入れたものは包括保税運送番号等を消せるようにしたい。	1件ずつCMF11またはCMF12で呼び出す手間がなくなる。件数が多くても、一括で処理が出来る為、効率UP、作業時間、人員の削減となる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-054	貨物	IMI-T	到着地CODEが表示されるようにしてほしい。	船舶CODE、揚げ地で縛ると、現在はB/L NO. 包括保税輸送承認番号のみがリストアップされる。	現在の表示に加え、到着地CODEが表示されるようにしてほしい。(同一包括保税輸送番号でありながら、異なる到着地CODEの場合があり、IMI-Tの画面上で確認出来るようにしたい)	誤登録防止、W-CHECK時の短縮、効率UP。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-055	貨物	IWH	IWH ※以前挙げさせて頂いた要望と同じ内容です。	一面での表示件数が制限されており、複数画面の展開を必要とする。	一面での表示可能件数を増やし、一度の画面展開で情報閲覧を可能とさせる。もしくは一括印刷を可能としたい。	業務効率化(使用頻度＝毎日)	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-056	貨物	MFR	港枝番の変更	港の枝番については変更ができない。	枝番の変更が容易にできるようにしてもらいたい。	シャトル便で頻繁に入港する本船の貨物情報の仕分けが容易になる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-057	貨物	MFR	在来用に変更	在来船なのにコンテナの項目がある		元来コンテナ用に作成されており電文的にも不要	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-058	貨物	MFR	IMI(積荷目録状況照会)にて、貨物総数を表示	別添のとおり、BL件数及びコンテナ本数は表示されるが、貨物総数は表示されない。	別添赤枠部分に貨物総数を表示させる。	現状貨物数量は表示されないため、登録後にBL内の台数に変動が生じBL件数に変更しないものの台数の変更があるケースでは、該当BLの内容を確認して、台数の変更が反映されているか都度確認している。正確な情報確認のためBL件数と合わせて貨物総数が表示されるとIMI画面で一目瞭然となる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-059	貨物	MFR/DMF		NACCSのマニフェスト業務がWEB NACCSに対応していない。	当社としては、WEB NACCSへの対応を希望。		システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-060	貨物	OLC	保税運送申告書の申告番号の表示を方法の改善	保税運送承認書に打出される申告番号は、1桁の数字が繋がっているため目で確認する際に非常に見づらく間違えて確認することがある	保税運送申告書の申告番号の表示を輸出入許可書と同様の3-4-4の区切りで間にスペースを入れてもらえると非常に整理がしやすくなる。	通関業の台帳(保税運送)の作成や、輸入申告の際のOLT番号を入力する際の間違えも少なくなる。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-062	貨物	RST01	netNACCS端末からRST01を確認できるようにしていただきたい	「輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)」は、自社サーバ経由で自動印刷されるEXC型である(輸入業務)	業務コードRSS11は、NET NACCS端末から「即時電文取り出し」可能となるINQ型に変更をしてほしい。	作業の軽減、効率を上げるため。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-063	貨物	SHN	貨物取扱登録(内容点検)について	入力者側(通関業者側)へも貨物取扱番号が印刷時に払い出されるように変更できませんでしょうか?	(倉庫側の貨物取扱(内容点検)情報には貨物取扱番号の記載があるようです)		システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-064	貨物	TYC	入力控が出力されるようになって欲しい	入力控の出力がされず、画面上でしか入力内容のチェックができない。	入力控が出力されるようになって欲しい	誤申請を防ぐことが出来る。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-065	貨物	VAE	VAE11画面の「共通部」にあるブッキング番号の入力欄を「繰返部」に移してコンテナ単位で入力できる形にする。	ブッキング番号が一つしか入力できない。	同一輸出管理番号であっても複数のコンテナ毎にブッキング番号が異なるケースが稀にあり、そのような場合はVAN11でコンテナ1本毎に登録しなければならず手間である。	入力作業の効率化が図れる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-066	貨物	VAE, VAN	航海番号、コンテナ自重、コンテナサイズ、コンテナタイプ、船会社の入力をなくしてほしい	航海番号、コンテナ自重、コンテナサイズ、コンテナタイプ、船会社を入力してもヤードの情報が反映される		航海番号、コンテナ自重、コンテナサイズ、コンテナタイプ、船会社を入力してもヤードの情報が反映される為、無駄な入力を省き業務の省力化に繋がる	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-067	貨物	現行なし	保税運送中に動物検疫を実施する際、保税蔵置場(CY)からの搬出停止を表示する(CYOできない設定)機能を新設	保税運送中に動物検疫を実施する際(OLT上は、検疫場所として経由地が記載されている)、保税運送を行う業者と動物検疫を申請している業者が別の場合、動物動物検疫を実施する前に保税運送を行う業者が搬出してしまった事例があった。 貨物は、横浜港揚げ、苫小牧港経由、札幌の保税蔵置場搬入の羊肉で、保税運送申告は、船会社の代理店が行い、代理店が手配した運送業者が、実際の運送を行った。動物検疫の申請、検査対応は当社が行い、経由する苫小牧港のCYで、検査等を受けることで、動物検疫の了解を得ていた。当社からは、保税運送を申請した代理店に苫小牧港で動物検疫を受けることとなっているため、動物検疫が終了するまで搬出しないよう連絡していたが、実際に運送する輸送業者には伝わっていなかったようであり、苫小牧のCYでは、特段、何もないので搬出(CYO)した。	保税運送中に動物検疫を含め、他法令の検査がある場合は、検査が終了し、合格証等の他法令の許可・承認書が発行されるまでは、税関のSTPのような差止表示ができるようにすれば、関連する業者が多い場合でも、誤った行為を防止できるようになると思われる。	NACCSでは、税関に関する申請等と貨物の動向はつながっているが、他法令については、申請のみの電子化で、実際の貨物の動向はマニュアルのままである事から発生したと考えられる。 他法令についても、貨物を差し止めるなどの業務がある事(他官庁が行う)により、誤った事態が発生しにくくなる。 かつ、関係先への連絡が、NACCSによりできることになり、かなりの省力化となる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-068	貨物		保税蔵置場(上屋)への汎用申請について	上屋とNACCSの連携がデジタルではない部分がある為、汎用申請で全ての情報をNACCS上でまとめることが出来たらわざわざ現場に行かずとも対応できる点がメリットだと考えます。	例えば、NACCSコード【CHS】で貨物を仕分けして、分けた貨物分のD/Oを上屋で発行して貰いますが、現状は上屋の印鑑を押しD/Oとしてみならず書類を発行している為、特に上屋へ行く必要が無い様に感じます。NACCS上で申請から完了まで全て出来るようになれば業務の効率化に繋がると考えます。ご一考頂けますよう宜しくお願い申し上げます。		システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-069	貨物		他のPCからも出力済の電文を再出力出来るようにしてもらいたい。	一度出力された場合、本人のPCからしか再出力が出来ない。(「他の端末の電文を取り出す」業務では未出力の電文しか出力出来ない。)	他のPCからも再出力が出来るようにしてもらいたい。(もしくは誰が出力したかわかるようにしてもらいたい)	行方不明になった電文を捜索する手間、各担当者への確認に要する時間の削減。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-070	通関	ACH	マニュアル輸入申告を行っているものをNACCSで輸入申告できるようにする。NACCSで申告するためには情報をNACCSへ登録する必要があるが「ACH」業務は航空会社に独占されている。	現状はシステム未対応。(第5次SEA-NACCSでは保税情報を通関業者で作成できたのでNACCSで申告することができた。AIR-NACCSは第5次も未対応。)	FERRY FLIGHTなどの特殊通関手続きをする場合、「ACH」入力業務が輸入する空港で保税蔵置場を持っている航空会社で独占されているので、NACCSで通関手続きができずマニュアル通関手続きになってしまいます。特殊通関の場合は、通関業者または税関で「ACH」を代行して入力できるようにしてほしい。	マニュアル申告を作成する人、審査する玄人が居なくなる為、作成から審査まで時間がかかる。マニュアル申告は搬入搬出等もマニュアル手続きになるので輸入許可までに時間がかかる。	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-071	通関	AHU	輸出貨物情報仕分け数の枠数の変更	現在仕分け数16	仕分け数の桁数を16枠から30枠へ増やしてほしい	現状、16枠しかないため、仕分け数17以上の場合は作業が煩雑になっている(仕分けの仕分けをしている)	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-072	通関	AMA	修正申告案件の入力方法について	未申告貨物があった際、修正申告で対応しているが、未申告貨物を加算する事で航空運賃が按分され当初申告で申告している貨物の課税価格が安くなる場合がある。その場合関税は減額される為、NACCSのAMA業務で申告が出来ます、マニュアル申告での対応になる	関税が減額で消費税が増額になる場合でもNACCSを通じて申告出来るようにしてほしい	関税100円の減額の為、マニュアル申告になり、且つ更正申告の手続きになるため、大量の資料が必要になり、且つ時間も掛かる。修正申告で行えることで時間的にも早くなる	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-073	通関	AMC	修正申告にかかる入力であるが、金額変更部分を入力することにより他は自動計算して、修正申告書に反映できるようにしてほしい。	現行は、変更したものを円換算して、申告価格、消費税、地方消費税は手打ちとなっている。	IDCのように必要箇所を入力することにより、他は、自動反映されれば、時間が削減できる。	作業効率化のため	第7次NACCS更改において対応予定
R04-074	通関	CDB、EDA	航空輸出貨物：搬入伝票の通関業者コード	搬入伝票にある通関業者コードが利用者コード(6桁)になっている(X8HE1、D5HE1等)	利用者コードの下3桁での制限。(HE1)	自由化申告、BCPの観点	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-075	通関	CEA	税関審査終了コードを電文として受け取ることを可能とする	IAWで照会して履歴からCEA業務の実施の有無を確認している	税関側での審査終了入力時に、申告者に対しても審査終了がなされた旨の電文を出力する。	審査終了状況の把握が容易になり、利用者の利便性の向上、およびコストの低減が見込める。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-077	通関	DLI02	DLI02での呼び出し時後の修正申告入力画面上に当初申告時のHAWBを表示させたい	HAWB番号をスタッフがマニュアル入力している	DLI02での呼び出し時後の修正申告入力画面上に当初申告時のHAWBを表示させたい	通関業者はHAWB単位で貨物情報を管理していることが多く、修正申告後の管理を容易にし、現在管理のために入力しているマニュアル入力作業を軽減できる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-078	通関	DLI02	修正申告の過去DATAを呼び出すことができるが、1件ごとの対応になるため、複数の申告番号をいれて、対応ができるようにしてほしい。	DLI02は輸入申告書の過去履歴1件ごとの呼び出しのみとなっている。	修正申告を期ごとに行う場合、申告書を続けていれることにより、それらが1件に反映できるようにしていただくと助かります。	1件ごとの対応となるので、期ごとの修正申告の場合、ペーストあるいは、手打ちとなり時間がかかるから	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-079	通関	EAA	航空貨物が航空会社で許可情報を変更できるように、船社でもEAA業務で変更できるようにしてほしい	申告地の税関に、申告した通関業者が変更	地方で通関後、港湾地区に搬入されたのち、数日から1週間後、船社の都合で、直前になって積地、船名の変更などを急がされることが多い。変更はかつ通関業者でしか出来ないため、地方で通関したものは申告地の税関に問合わせてから手続きを行う。	許可内容変更に伴う料金も取れず、事由が発生してから処理までに時間を要する。船社都合にもかかわらず、通関業者にとっては手間ではかない。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-080	通関	EAA EAB	EAB、EAAなどの許可後訂正について	複数件の許可後訂正で変更内容がすべて同じである場合、一括でまとめて変更できるようにしてほしい。またはまとめて入力できるフォーマットを作ってほしい。			システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-081	通関	EAD	NACCSで許可後の変更(大額から少額への変更)ができるようにしてもらいたい。	NACCSで変更できない		税関へのマニュアル変更が省ける。	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-082	通関	ECR	重量単位がTNEになっていた場合、警告を出してほしい。重量単位の入力をプルダウンにするのをやめて欲しい	重量単位の入力がプルダウンになっており、少しのタッチミスでKGMとTNEが入れ替わる	重量単位の入力がプルダウンになっており、入力時指が下矢印にあたるなどただでKGMとTNEが入れ替わってしまう。KGMしか使わないため、チェック時にこの箇所が違っても気づけない。プルダウンにするのをやめて欲しい	操作ミス、入力ミスを防ぐことができる	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-083	通関	EDA	入力したデータに対応するアラートの発報	NTTデータアイ社製 SimGateを使用	① 輸出承認証等区分欄「NO」 ② 上記①の「NO」を入力した場合、本来であれば輸出貿易管理令別表コードの欄はプランクとなるが、輸出貿易管理令別表コード欄に誤ってコードの記載を行った場合でもエラーとならない。輸出承認証等区分欄に「FE、E1、E2等」のコードを入れた場合は輸出貿易管理令別表コードを無記入で送信した場合はアラートが出るため「NO」とした場合にも同様のアラートを出して頂くよう改修できませんでしょうか	輸出貿易管理令に該当しない場合は、輸出承認証等区分は「NO」となるが、誤って輸出貿易管理令別表コードに入力した場合エラーとならず、気付かずに事項登録を進めてしまうケースがある。申告前の審査においても、「NO」となっている事で別表コードが入っていないという思い込みが発生してしまい見落としとして申告するリスクが発生している。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-084	通関	EDA	複数の管理NOがあるコンテナ本数入力の自動反映	複数の管理NOがあるコンテナ本数の場合、先頭に7(複数の意味)を手入力している	VAN登録をするコンテナ本数は自動反映される。複数管理NOがある際も7を自動反映させてほしい	自動反映されることにより許可までのリードタイムを短くできる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-085	通関	EDA	仕向人の住所欄の4欄を、1欄に変更	・仕向人の住所欄は4分割されており、NACCS仕様により番地、都市名、国名など細かい指定がある。 ・荷主からはEDIで住所を入手しているが、海外の住所を分割して入力する必要があり、番地や都市名などの判断と、分割入力が必要となっている。	4欄ある住所欄を統合し1欄に変更。	荷主からのEDIデータを直接貼り付けることができ、業務効率化につながる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-086	通関	EDA	マニュアル申告のシステム化	所定の様式に必要事項を記載している。	NACCSを利用してマニュアル申告を行えるようにして頂きたい。	9割以上NACCSを利用した申告の為、従来の様式に記載する方法は、不慣れな者も多く時間がかかる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-087	通関	EDA	NWの合計重量とGWに矛盾や大差があれば警告を出してほしい	2つの数字について関連をチェックしていない	GWよりNWの合計方が大きい数字だったり、NWの合計重量とGWがかけ離れていれば(2桁以上違っていれば)警告を出すように欲しい	極端な入力ミスには警告を出してほしい ミスの減少につながる	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-089	通関	EDA, SELと EDA, AEL	SEAとAIRで、輸出申告書の統一(輸入も同様)	以前からマニュアル申告は、SEAとAIRで統一の法令で定める申告書で申告されている。 NACCSシステムが、異なるサーバーであるという理由等から統一してませんでした。 しかし、数年前からNACCSはシステムサーバーが統一されたが、反映されることなく、全く別の異った申告書(フォーマット)のままで、2つのシステムや環境設定が必要である。	SEAとAIRで、申告書統一。 SEAとAIR共にNACCS参加・情報がある。 AIRと同様にSEAの 貨物重量・記号番号・積載予定船舶を無くして記載不要とし、統一化と効率化を図りたい。	センター側は、統一化を行うことで、NACCSシステムの管理や保守の軽減化。 輸入者・通関業者等は、2つのプログラム構築やデータの取込システムなどを1本化することで、経費の削減になる。 通関業者は、申告書作成の効率化が可能。 税関と通関業者の双方で、EAB業務である輸出許可変更の減少効果。 ミスを防ぐことができる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-090	通関	EDB	重量単位がTNEにな重量単位がTNEになっていた場合、警告を出してほしい。	ECRの内容が反映されるため、KGMとTNEが入れ替わっていても警告はでない	貨物重量はKGMしか使わないため、チェック時にこの箇所が違っても気づけない。		他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-091	通関	EDC	NACCSシステムでは、一部「I」申告が、出来ないケースがある。	積戻申告の時、「I」申告が出来ない。	通常の輸出申告が、搬入済であっても「I」申告が可能ではあるが、積戻輸出申告だけが、システム上、出来ない。	輸出許可が遅れると船積が出来ない上、ヤードでの保管や搬入が難しいケースがあり、搬入と同時に申告が可能である、自動起動がかかれば、リアルタイムで動き出せるので、結果的に船積に間に合います。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-092	通関	EDC	NET WEIGHT の入力	NET WEIGHT が GROSS WEIGHT を超えた場合でも申告ができてしまう。	NET WEIGHT が GROSS WEIGHT を超えた場合は申告ができないように欲しい	非違を防ぐことができる。税関もミスを指摘する手間が省ける。	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-093	通関	EDC	特定輸出申告において、申告時に搬入が入っている場合は、一般申告と同様、保税地域のチェックを加えていただきたい。	特定輸出申告においては、どこの保税地域に搬入がされている場合でもエラーがからずに申告を行うことができる。	輸出申告の際、下記内容の申告条件の項目を追加していただきたい。 従来通り、貨物運送途中の場合は貨物情報の保税地域はブランクとなっており特定輸出申告を行うことができる。保税地域に貨物が搬入されている場合、貨物情報の保税地域と輸出申告事項登録で登録されている保税地域が一致しない場合は特定輸出申告がエラーとなる。	実際に貨物が搬入されている保税地域と、輸出申告の保税地域が異なる場合の輸出申告誤りを防ぐことができる。通関非違、保税地域の非違を防ぐことができる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-094	通関	EDC MEC	現在汎用申請で行っているDOX申告をNACCSでの通常申告で実施することを可能とする。	現在は汎用申請(HYS業務)でドキュメントのマニフェストを提出し、全件税関での審査を行い、審査が終了したあとにNACCSに対して汎用申請に対する承認入力とNACCS登録されたHAWBIに対する許可入力を税関にて実施していただいている。	輸出ドキュメント申告について現状の申告単位のまま通常の輸出申告と同様に、NACCSのEDC/MEC業務と同じように申告を行い審査区分をNACCSシステムで払い出すことを可能とすることを要望する。 また提出書類が発生する場合には区分2, 3, 1Y等と同様の運用ルールでの提出を可能とすることを要望する。	輸出ドキュメント申告については、貨物の上屋への搬入後の申告を行う必要があるため、申告から航空機搭載までの時間が非常に短いのが実情である。現在、審査および汎用申請の承認および税関での許可入力等で平均9分から10分程度を要しているがその時間を短縮することで、より円滑な貨物の移動に資することが見込まれる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-095	通関	EDC MEC	現在汎用申請で行っている380申告をNACCSでの通常申告で実施することを可能とする。	現在は汎用申請(HYS業務)で380フォームおよび必要書類を提出し、全件税関での審査を行い、審査が終了したあとにNACCSに対して汎用申請に対する承認入力とNACCS登録されたHAWBIに対する許可入力を税関にて実施していただいている。	輸出380申告について現状の申告単位のまま通常の輸出申告と同様に、NACCSのEDC/MEC業務と同じように申告を行い、審査区分をNACCSシステムで払い出すことを可能とすることを要望する。 また提出書類が発生する場合には区分2, 3, 1Y等と同様の運用ルールでの提出を可能とすることを要望する。	輸出380申告については、貨物の上屋への搬入後の申告を行う必要があるため、申告から航空機搭載までの時間が非常に短いのが実情である。現在、審査および汎用申請の承認および税関での許可入力等で平均9分から10分程度を要しているがその時間を短縮することで、より円滑な貨物の移動に資することが見込まれる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-096	通関	EDC/IDC	EDC/IDCにおいて申告番号1件ごとの対応であるが、複数でもできるようにしてほしい。	EDC/IDCには、一つの申告番号のみの対応	複数申告番号をいれて、送信ができるようになるれば、申告のSPEED UPにつながる。	作業効率化のため	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-097	通関	EEB	海上貨物において、出港予定年月日を過ぎることにより、輸出取止め再輸入をナックスで実施できなくなる事を可能にしてほしい。	現在海上貨物においては、出港予定年月日を過ぎる事により、ナックスでは取止め再輸入の実施が出来なくなっている。	海上貨物において、出港予定年月日を過ぎることにより、輸出取止め再輸入をナックスで実施できなくなる事で、過去に港税関まで来て、書面での取止め再輸入申告書を提出して下さいと言われたことがあります。（弊社は内陸）出港予定年月日を延長して、取止め再輸入をすることはナックスの機能上可能ですが、税関より取止め再輸入するための出港予定日延長は認められないと言われました。	出航予定日が過ぎてることにより、輸出取止め再輸入をするには、書面での提出か又は、取止め再輸入するために先ず出港予定日を延長して、次に取止め再輸入（税関が認めてくれたら）がありますが、上記の手段は手間であり、出港予定日を過ぎても取止め再輸入が出来るようお願いさせていただきます。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-098	通関	HIS	識別コードの照会	適用税率が照会されるがEU05などの使用できる識別までは照会されない	照会時に照会条件に入力した国コードで使用できる税率が照会結果として表示されているが、加えて入力可能なすべての原産地証明者等区分、貨物の種類のコードを検索結果として表示してもらいたい	EPA税率が複雑になってきているので、都度コードを確認することなくHIS画面の照会結果を確認しながら、申告事項登録を行うことで、申告作業の作業負荷の軽減に資する。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-099	通関	HYS	汎用申請業務において、税関から返信される許可通知情報の税関通信欄の内容が、稀に誤っていることがある。現状ではNACCSでの修正の対応が出来ないので、可能にしてもらいたい。	許可通知情報を出力した後、税関へ赴き誤っている箇所に訂正印をいただき修正対応をしている。	汎用申請業務を利用して行っているドキュメント通関及び米軍の免税物品の通関において、税関から返信される許可通知情報の税関通信欄に「申告番号」と「保税運送番号運送先」が記載されているが、その情報が稀に間違っていることがある。現状ではNACCSでの修正の対応が出来ないので、税関側で内容を変更して再送信できるようにする等により、それを可能にしてもらいたい。	Paper less業務の対応がPaper lessで出来ないため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-100	通関	HYS	見本持出申請をマニュアルで行う際、汎用申請にて申請ができるようにして欲しい。	汎用申請では見本持出のマニュアル申請はできない。	貨物が蔵置場に搬入していない場合（本船内にあるバラ貨物等）の見本持出ではMHAが使用できないため、マニュアル申請となるが、現状では汎用申請が出来ないので、出来るようにしてほしい。	・許可を急ぐ際に税関まで足を運ぶ必要がある。 ・感染症対策上の観点から、対面でのやりとりよりもNACCS上で済めば有難い。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-101	通関	IAS	包括延納の残高について	NACCS端末にて業務コードにて照会して確認を行う	NACCS端末をすべての輸入者が持っているわけではないため、Webなどで簡単に確認出来るようにしてほしい	お客様から確認の為だけの連絡をいただくことが多い	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-102	通関	IAW	航空輸入において、Zダメージが発生した場合、内容点検等手続きをしないと申告に入れないが、色識別表記がでないが、	現在は、色がなく目立ちにくい。	Zダメージのとき、その部分を赤色等目立つワーニング表記にしてほしい	航空貨物は緊急が前提の貨物であり、搬入後の内容点検にかかる時間の負荷は高い。そのため、その事項が一目両方でわかる色判別できることにより迅速に対応できるようにする。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-103	通関	ICG	最新更新利用者コードの詳細表示	ICGの最新更新利用者コードは英数の5桁表示	ICGの最新更新利用者コードは英数の5桁表示だが、5桁をクリックすると会社名が表示されるなど仕様を変更して欲しい。	最新更新利用者へ連絡が必要な際、インターネットなどで検索する時間を省略したい。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-104	通関	IDA	税表番号を変更した際、品名も自動で補完される仕様の導入	変更する際、品名を空白にして送信している。	手入力された品名以外の場合には、品名を消す事なく、税表番号に紐づいている品名が補完されることを可能とする仕様を要望。	申告時の品名の適正化の担保および入力作業の軽減。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-105	通関	IDA	日本製の貨物の場合に、原産地コード JP を入力可能とする	統計基本通達7-2(2)（国別の選定基準）ただし書きの規定により、積出国を入力し申告を行っている	原産地コード欄に“JP”を入力可能とする	インボイスに記載された原産地での申告が可能になる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-106	通関	IDA	直接納付場合にも識別方法を入力することを必須とする	口座番号、延納番号が空白であれば、自動で直接納付が選択される	直接納付を行う際には納付方法識別欄に直接納付を希望する旨のコードを入力し事項登録を完了することとした上で、税金発生時の事項登録において納付方法の空白はエラーとする。	意図せずに直接納付での申告が行われることを防止し、適正な当初申告の実施に資する。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-107	通関	IDA	入港日の自動反映	自動反映されず手入力	一括搬入されたら入港日も自動反映してほしい	最新の入港日が反映されることにより業務効率化が望める	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-108	通関	IDA	担保番号を入力した際に、入力控えでも入力の有無を確認できるようにして頂きたい。（IDA）	担保番号が入力されなかった場合、画面上の業務メッセージに入力されていないとエラー表示されている。又、IID（輸入申告等照会）で担保番号の入力の有無が分かるが、IIDの作業に手間感じますし、業務メッセージは、搬入されていない等のメッセージがされているので、見分けにくい。例として、再輸出免税適用の際、担保番号を入力しなくても輸入申告ができる状態になっている。	再輸出免税適用の際、担保番号の入力を忘れてしまい、そのまま輸入申告をし、書類審査時税関から入力忘れを指摘されて非違を起こしてしまった。	入力控えに、担保番号の入力の有無が分かれば、IID（輸入申告等照会）の手間も省け、適正且つ迅速な申告に繋がると考えております。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-109	通関	IDA	延納番号、リアルタイム口座番号が表示されるようにして欲しい	入力控では延納番号及び口座番号の確認ができない。	延納番号、リアルタイム口座番号が表示されるようにして欲しい	複数の延納番号を持っている荷主がいるため、誤入力を防ぐためにも表示されるようになって欲しい	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-110	通関	IDA	AIRにて、複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWBのみでの申告対応	海運と同様に、IDAのAWB欄を複数欄に設けてほしい。過去に航空輸送上、危険品申告の関係により、分割輸送されて、マニュアルによる1申告したことが、何度かあった。現在も輸入者から相談受けることがあります。	税関事前相談、あるいは、輸入者経由にて輸出者にインボイスを1AWBごとの分割作成が可能であるかの相談、マニュアル申告書(納付書記載含む)、及び税関への窓口持参等の努力、手間が省ける	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-111	通関	IDA	輸入承認等番号欄につき、全て縦一列表示してほしい。	まれに縦一列表示になることがあるが大半は、左右交互に表示されている	縦一列に1~10まで表示できる様にしてほしい	左右交互表示による番号の重複誤入力を防ぎ、縦一列表示により、IDA後の誤入力チェックをしやすくなる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-112	通関	IDA	荷主口座担保残高がわかるようにしてほしい	表示なし	コンプライアンス上、荷主口座担保残高を見ることが可能であるなら、延納残高と同様に、荷主口座担保残高もわかるようにしてほしい	申告前に輸入者に納税種別の相談が可能となる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-113	通関	IDA	入力したN/Wの合計を確認できるようにしてほしい	特になし	入力したN/Wの合計を確認できるようにしてほしい	N/Wの数値を入力ミスしているかどうか検算できるようになり、ミスが減少する	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-114	通関	IDA	他法令コードと輸入承認証番号等の関連チェック	承認証等番号が入っているのに、他法令コード未入力でも申告が入る	承認証等番号コード頭2桁と他法令コード欄を関連チェックできるようにする	誤申告防止	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-115	通関	IDA	輸入承認証番号等欄への日本語入力	ローマ字表記(例: TOKYO DAI OOOOGO)	ローマ字表記でしか入力出来ないため、日本語変換(漢字)入力を出来るようにしてほしい	NAやPDの承認証番号が日本語(漢字)表記となっており対査確認が明確でスベル間違いを防止できる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-117	通関	IDA	他法令共通管理番号の紐づけ件数の見直し	現在は9申請までしか紐づけが出来ない	10件以上も紐づくようにしていただきたい	10件以上は申請番号の手入力や申告書類への他法令申請書添付が必要。変更する事で効率が上がる	第7次NACCS更改において対応予定
R04-118	通関	IDA	原産地と原産地証明書識別コードの連動	原産地と該当しない証明書の識別コードを入力してもそのまま作成できる。	連動していないときは制限をかけるか、エラーメッセージの表示を要望する。	証明書識別コード誤りの削減。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-119	通関	IDA	EPA等原産地識別コードの判別機能	特になし	原産地識別コードでFTA等特恵適用に該当しない原産国でも入力できてしまうため(例: MY-EU14)各協定に該当しない国を入力した場合はアラートが出さないか。	適正申告並びに単純なミスの防止にも繋がる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-120	通関	IDA	ネット重量がグロス重量を超過している場合の判断機能	特になし	重量オーバーの場合でもIDAがコンプリートされないようにアラートを出せないか。	適正申告並びに単純なミスの防止にも繋がる	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-121	通関	IDA	原産地コードに合致しない原産地証明書識別コードを入力した場合、アラートがでるようにしてほしい	例えば原産地コードをGBと入力した場合でも原産地種別EUが入力できる。	適用できる協定と原産国が一致しなくても申告できてしまう。	エラーができればミスの防止、低減になり、適正申告に繋がる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-122	通関	IDA	他法令コードを入力しているのに、承認証番号等が入力されていない場合、アラートがでるようにしてほしい	アラートはでない。	例えば他法令コードFDと入力しているのに、輸入承認証番号等欄がブランクになっている場合にアラートを出す。その逆も同様に。	エラーができればミスの防止、低減になり、適正申告に繋がる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-123	通関	IDA	原産地コードJPを入力できるようにしてほしい。	JPが入力できないので便宜的に発地国コードを入力している。	日本製の商品の原産地を日本と入力するべきで、発地国で入力するべきではないと思います。	原産国の正しくJPと入力することで原産国の入力ミスを防ぐ	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-124	通関	IDA	IDA業務でNACCS欄部の品目番号ごとの数量欄(1)(2)について、不要な単位数量入力に対するガード設定	IDA業務、NACCS欄部、数量欄(1)(2)について、申告に必要なコードが1つのところ、誤って2つ入力してしまった場合でも申告できてしまう。その際、警告表示もない。たとえば、品目番号 6117.80-2003 は KG を入力しなければならないが、NO と KG 両方入力してしまった場合であっても警告表示が出ない。	IDA業務、NACCS欄部、数量欄(1)(2)について、品目番号ごとに申告が必要な数量単位コードが決まっているが、コードの入力が1つで良いところを誤って2つ入力してしまった場合に警告を表示し、入力できないようガードをかけてほしい。	不要な数量を申告してしまった場合であっても、NACCSで自動処理されるため貿易統計に影響はないと思われるが、税関審査(区分2、区分3)の際に非抜扱いにされることがある。 NACCSで申告できないようガードがかかるようになれば、申告数量単位についていちいちタリフで確認する必要がなくなり、申告書類作成時及びチェック時の負担が大きく軽減される。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-126	通関	IDA	マニュアル申告のシステム化	所定の様式に必要事項を記載している。	NACCSを利用してマニュアル申告を行えるようにして頂きたい。	9割以上NACCSを利用した申告の為、従来の様式に記載する方法は、不慣れな者も多く時間がかかる。システム化されれば迅速な通関につながる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-127	通関	IDA	IS/IMの併せ運送期間延長のNACCS対応化	IS、IMの併せ運送期間は、NACCSで自動的に期間指定される。数量が多く運送期間が不足の場合、NACCS対応ができない状況である。	NACCSで対応できるようにしてほしい。	税関通関部門、保税部門へ連絡し、マニュアルによる運送期間延長で対応している。税関サイドも取扱いに苦慮している。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-128	通関	IDA	B/L番号の入力件数追加	5件まで入力できるが、蔵置場所が5か所を超えてしまうと分割(内取り)して申告せざるを得ない。	B/L入力件数を10件程度まで拡大してほしい。	本来不要である分割(内取り)申告にかかる計算書作成等の事務が削減できる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-129	通関	IDA	延納担保番号の表示	Hと表示されるのみ	入力控、申告控に延納担保番号を表示させてほしい。	複数の担保を持つ顧客の場合、指示された担保番号が入力されているか、現状では紙面で確認する事が出来ない。入力控、申告控に延納担保番号を表示させることにより、使用する担保に誤りが無いか確実に確認できる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-130	通関	IDA	社内整理番号・荷主セクションコードの文字数入力枠の拡大	20文字まで入力可能	「荷主Ref No.」程度の文字数入力枠拡大	通関依頼の内容により20文字を超える入力事項が発生する為	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-131	通関	IDA	口座・納付方法について	口座については「F」「G」等、納付方法については「R」「H」等の記号で表示される。	入力控えの時点では、入力している番号を表示できるようにしてもらいたい。	入力時の番号誤りに、2次審査者も審査しやすくなる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-132	通関	IDA	延納番号、リアルタイム口座番号が表示されるようにしてほしい	入力控では延納番号及び口座番号の確認ができない。	延納番号、リアルタイム口座番号が表示されるようにしてほしい	複数の延納番号を持っている荷主がいるため、誤入力を防ぐためにも表示されるようになってほしい	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-133	通関	IDA	マニュアル申告対応をNACCS対応化	税関検査のアイテム指定に対応できず、OLIをして倉庫でデバンして税関検査する場合、マニュアル移行しなければならない。	NACCSで対応できるようにしてほしい。	マニュアル申告を無くし、NACCSで管理が出来る。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-134	通関	IDA	軽減税率注意メッセージ帳票記載	食品などでF3ではなくF4入力の場合、注意メッセージはですが、帳票には表示されない。	特恵のように帳票に注意メッセージを記載	税率誤りの防止になる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-135	通関	IDA	B P用包括担保番号入力済み	帳票に入力済み画面が出ない。申告者は番号入力済みかどうかの確認に時間を要する。	帳票に包括担保番号入力済項目を追加する。	申告時間省略	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-136	通関	IDA	大額/少額*欄の入力項目、L、Sの入力の自動化	各欄申告価格に大額があれば”L”を、少額しかなければ”S”を手入力	入力を自動化してもらいたい。	入力データから自動判別が可能。入力ミスの防止。入力の省力化。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-137	通関	IDA	関税法70条関係許可承認書欄に対応するコードの自動入力化	関税法70条関係許可承認書欄にCRやPDを入力して輸入承認書番号欄にCRNOやPDNOを手入力している	輸入承認書番号欄にPDNO/CRNO等の入力がある場合関税法70条関係許可承認書欄に対応するコードの自動入力をしてほしい	関係する入力を自動化することでミスを防ぐ	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-138	通関	IDA	関税法70条関係許可承認書欄に対応するコードの注意喚起	輸入承認書番号欄にCRNOやPDNOを入力して関税法70条関係許可承認書欄にCRやPDを入力を忘れてそのまま申告されてしまう	輸入承認書番号欄にPDNO/CRNO等の入力がある場合関税法70条関係許可承認書欄に対応するコードの注意喚起をしてほしい	関係する入力を自動化することでミスを防ぐ	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-139	通関	IDA	関税法70条関係許可承認書欄FDの消費税コードの注意喚起	輸入承認書番号欄にFDが入力されていて消費税種別区分がF4であってもそのまま申告されてしまう	輸入承認書番号欄にFDの入力がある場合で、消費税種別区分がF4になっている場合は注意喚起をしてほしい	暫定税率のF3かどうかの確認をおこなえる	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-140	通関	IDA	積出国と原産国の差異がある場合の注意喚起	積出地の国名コードと原産地コードが異なっているにもかかわらずそのまま申告されてしまう	積出地の国名コードと原産地コードが異なる場合は注意喚起をしてほしい	正しい原産国で申告する	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-141	通関	IDA	リアルタイム口座不足の注意喚起	リアルタイム口座に金額不足になっていても申告はできてしまう	リアルタイム口座不足の場合エラーになる	口座不足をいち早く把握することでスムーズな申告になる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-142	通関	IDA	2頁目 数量(1)欄及び(2)欄 MTの場合、小数点以下3桁が入力できるように願いたい。	2頁目 数量(1)(2)欄 MTの場合、現在小数点以下2桁となっている。この為、MT表示では正しい申告ができないため、KG表示に変換して申告している。	システム上の理由等で、2頁目が小数点以下2桁入力しかできないのでは、適正な申告といえない。1頁目(小数点以下3桁表示)と同様に正しい申告をするため、MT表示の時、小数点以下3桁が入力できるようにしてほしい。	積地BL数量は小数点以下3桁となっているにもかかわらず、2頁目は小数点以下2桁入力しかできないのでは1頁目(小数点以下3桁表示)と異なり、正しい申告ができない。適正な申告をするためには、KG表示(下3桁)に変換し申告せざるを得ないのが現状である(他港税関によって、対応が異なる→全国ベースではかなりの事象になると思われる)。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-143	通関	IDA	関税等の納付方法で荷主リアルタイム口座使用の場合の残高不足防止	通関業者ではNACCSを使用して荷主口座の残高や、残高に不足がないか確認する方法がない	IDAを送信時にIDC画面の業務メッセージで残高不足を通知してくれる仕様にしてほしい	誤謬の防止、迅速通関のため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-144	通関	IDA	包括担保番号がIDAの打ち出しの際、みえるようにしてほしい。	IDA打ち出しで見えなくなる。打ち出しで審査する際、担保番号がみえなくなる。	IDAの打ち出しの際、確認できるように担保番号が見え、申告の際は、みえなくなるようになる	1社で複数の担保番号を保持している会社があるので、入力すべき番号の誤入力を防ぐため。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-145	通関	IDA	原産地証明書識別コード入力項目送信時の表示変更	原産地証明書識別コード入力時、他国の4桁コードを入れても反映されるようになっている。例:KR-RKT4→KR-RCT4でも送信される。	原産地証明書識別コード入力時、他国の4桁コードを入れた場合、エラーになり、送信できないようにしてほしい。	誤った識別コードでの申告誤りを未然に防ぐことができる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-146	通関	IDA AID	評価金額を任意の案分係数で案分する係数を入力する欄を創設してほしい。	共通分に入力した評価金額が各欄に自動で均等に案分されている。	繰返部の各欄に任意の案分係数で評価金額を案分する係数を入力する欄を創設してほしい。プランクであればこれまで通り自動均等案分とする。	現在、欄ごとに評価額が異なる場合(自動案分されたくない場合はBPR案分係数に評価額を合算し入力している。通貨がインボイス価格と評価額で異なる場合などBPR案分係数計算の手間がかかっている。繰返部の各欄に案分係数を入力することで計算の手間が省ける。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-147	通関	IDA ISW	本船の船舶情報で、船会社による船舶情報の訂正(船名変更等)があった場合、IS貨物等の載出申告の際に船名が変更されてしまう。また本船情報が削除された場合、貨物情報の訂正も出来ない為、マニュアル申告に移行しなければなりません。本船情報は船会社による変更があっても、元の情報を一定期間維持してもらいたい。	船名が変更になれば、申告書上の船名も自動的に変わってしまう為、本来の本船名を申告書上の記事欄に記載。削除された場合naccsエラーが出て申告書の作成が不可能。貨物情報の変更も不可能の為、マニュアル申告となる。	本船情報が変更されても、変更前の情報を一定期間維持してもらいたい。ISの期間とするならば2年間。	申告の際に本来の本船名で申告が出来る。マニュアル申告を回避できる。税関からも要請がありました。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-148	通関	IDA, IFA, ILA, IPA	共通管理番号の複数B/Lへの対応	B/L1件と共通管理番号1つが組になっており、かつ輸入申告書には共通管理番号1件しか入力できないため、複数B/Lのときは入力できない。	複数B/Lの場合も共通管理番号による他法令とのリンクができるよう改善してほしい。	他法令合格前に申告できるため、リードタイムが減少する。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-149	通関	IDA, IFA, ILA, IPA	共通管理番号についてのエラー表示の追加	輸入申告書に入力した他法令のリンク件数と実際に届け出た数が一致しなくてもエラー表示がなく、申告(IDC)ができてしまう。	エラー表示をするなど、そのまま申告に至れないようにしてほしい。	誤謬の削減。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-150	通関	IDA, IDB, IDC	コソボ共和国の国コードでの事項登録ができる。2021年に要望し継続案件となっておりますが、7次NACCS向けに検討されているかが不明の為再度要望いたします。	マニュアル申告を行い、税金は現金で直接納付を行っている。	国連LOCODEが無いが国として申告できるとされている国に関してはNACCSで使用できるようにして頂きたい。	マニュアル通関の削減及びPaperLessの実現 申告から許可までの大幅な作業と時間短縮	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-151	通関	IDA/IDC	BP申告時における消費税担保の計算方法がNACCS仕様書とNACCSプログラムで相違がある	NACCSシステムの仕様書における消費税担保の計算方法は、 ◆（内国消費税＋地方消費税）×110% ⇒100円未満切り捨ての金額 となっているが、NACCSシステム内部の計算プログラムは、 ◆（内国消費税×110%（小数点以下切り捨て） ＋（地方消費税×110%（小数点以下切り捨て） ⇒100円未満切り捨ての金額 と設定されている。	NACCSプログラムの計算方法を仕様書と同一に変更して頂きたい	消費税額次第で、左記の計算方法の相違が要因となり、担保額に誤差が生じる	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-152	通関	IDB IDC	関税割当（TQ）申告時、他法令コード未入力時のエラーサイン表示	TQ適用のHSコード適用しても、他法令コードとは連携しておらず未入力でも申告可能となっている。	TQ適用のHSコード使用時に、他法令コード（TQ）が未入力の場合には、エラー表示され且つIDCができないようにする。	単純な入力ミスであるが、HSコードから容易にエラーチェックが可能と思われる為。税関・通関業者・顧客において、原本訂正等に対する手間が削減できる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-153	通関	IDC	予備申告を手动で IDC → H 本申告した際に予備申告時にログインしている通関士コードを許可書に反映させてほしい	IDC→H の本申告時にログインされている通関士コードが反映される	多くの場合、予備申告時に通関士審査は終了しているため、予備申告の際に通関士審査終了とみなして予備申告時にログインされている通関士コードを許可書に反映させる	Z申告（搬入後自動）の場合は予備申告が自動許可時点のログイン状況が反映されているのとは不明 効果としては本申告をする際に通関士コード再入力の手間が省ける	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-154	通関	IDC	オプションでも構いませんので、IDA及びIDBで入力した申告等予定年月日より前にIDCで申告する時はポップアップで警告が出る仕様にしてほしいです。	IDA及びIDBで入力した申告等予定年月日より前にIDCで申告するとそのまま申告となります。	オプションでも構いませんので、IDA及びIDBで入力した申告等予定年月日より前にIDCで申告する時はポップアップで警告が出る仕様にしてほしいです。	荷主の要望があるにも関わらず間違えて早めの申告をしてしまうことがあるため	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-155	通関	IDC	予備申告において蔵置される上屋が変更になった時に自動的に上書きされるようにしてほしい。または上屋プランクでも入力可能としてほしい	上屋が違うと自動起動しない	上屋の変更だけで、申告が止まってしまう。	特に夜間にスムーズに申告 許可となる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-156	通関	IDC	Z予備申告（搬入時自動起動）をし、区分3で書類審査終了になったにも関わらず本中に切り替わると再度区分3に戻る時がある。	税関へ電話連絡し許可の処理をして頂いている。	本中に切り替わると全ての申告に対して許可が自動的に出るようにして欲しい。	・Z予備申告をする意味合いがない。 ・許可を急ぐ際に対応し辛い。 ・税関へ電話連絡する手間が省ける。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-157	通関	IDC	B P時における石油石炭税の担保額に関して、免税申告を行っているが担保額は免税を考慮していない。自動的に免税後の担保額を表示して欲しい。	左記B P時に免税扱いで申告しているが、免税前の担保額が表示されるため税関側にて承認時に担保額を免税後の額として登録している。	免税扱いの場合は税関の手を加えることなく申告控えの段階で免税後の担保額を表示して欲しい。	現在はMSX時に通信欄に「石炭税免税分を除いた額で担保額の計算お願い致します。」などと記載し、税関側がBP承認時に手作業で免税後の担保額に修正している。通関業者・税関共に業務が煩雑となっており、通信欄の記載漏れや税関の修正漏れにより正しい担保額でのBP承認とならない可能性を排除できる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-158	通関	IDC	輸入申告時に延納口座担保残高確認を追加	予備申告、本申告が可能。審査終了後に許可とならないため、IAS業務で担保残高を確認する必要がある。	予備申告時と本申告時に延納口座の担保が不足していた場合は、申告が不可でエラーとなり、担保不足通知書が払い出される。	申告前に輸入者へ確認が確認が出来、訂正業務等が削減される。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-159	通関	IDC	輸入申告時にリアルタイム口座の残高確認を追加	予備申告、本申告が可能で、審査終了後、本申告時に口座利用不可通知書が払い出される。（口座不足の項目無し）	予備申告時と本申告時にリアルタイム口座の残高が不足していた場合は、申告が不可でエラーとなり、口座利用不可通知書（口座不足）が払い出される。	申告前に輸入者へ確認が確認が出来、訂正業務等が削減される。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-160	通関	IDC	ICGの事故確認表示にZがでているときに申告ができないようにしてほしい。	事故確認表示にZがでていても申告ができる状態	Zが出ている場合、通常 Zの解除をおこなってから申告となるが、Zの解除前でも申告できるので、解除前申告ができないようにしてほしい。	Zがでているのを気が付かず申告するのを防ぐため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-161	通関	IDC	ICGの記号番号と申告書の記号番号が相違する場合、NACCS左端のピンクで注意喚起をするしてほしい。	ICGとIDCの記号番号が相違しても、注意喚起はされず、通常申告ができる。	申告ができてよいが、注意喚起があれば、誤ったケースマークが訂正できるため。	ケースマークの相違により倉庫からの搬出ができなくなるため、原本訂正になってしまう。それを防ぐための注意喚起	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-162	通関	IDC	到着即時許可制度の条件緩和	申告条件「U」の輸入申告がPKG前	PKG後に輸入申告（予備申告）をして、HCH自動起動としたい。JAL上屋JALフライトを想定。	成田空港内での到着即時許可制度を活用することで、さらに迅速な通関が出来る。また搬出入確認回数が省略できる	第7次NACCS更改において対応可否を検討したが、制度上対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-163	通関	IDC IFC	送信したあとキャンセルを押下した場合は送信をストップさせてほしい	送信したあと、「送受信中」キャンセル」というコマンドが出るが、キャンセルを押下しても送信が止められない	送信をかけた直後にキャンセル表示が出ているあいだは、キャンセル押下したものはデータ送信をストップさせてほしい	キャンセルという表示があるにもかかわらず送信が止まらないから。誤送信の防止。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-164	通関	ID1	通関書類の提出が必要な照会種別コード“L”において、あて先官署ごとではなく申告した全官署での一覧ができるようにしてほしい。	申告官署ごとに検索を行い、申告した全官署について確認している。	申告官署単位ではなく、業者コード単位で一覧できるようにしてほしい。	申告官署が多岐にわたる場合、官署ごとに確認する必要があるため煩雑な作業となっているため。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-166	通関	IDY	輸出申告変更（官署変更）「EDY」と同様の輸入申告での業務コードの新設。業務コード名：輸入申告変更（官署変更）	輸入予備申告後に申告官署を変更する場合には、税関に連絡し一度申告を撤回してから再度輸入申告が必要となる。輸入の場合はA（開庁不可）税関に予備申告を行い、搬入が遅れて開庁時間外に本申告を行う場合には、申告を一度撤回してから再度B（開庁可能）税関に再度申告することになります。A税関の書類審査がB税関に引き継がれません。	輸出申告変更（官署変更）「EDY」と同様に申告内容が引き継がれるようにしていただきたい。	税関、通関業者の申告を撤回、再度申告書作成等の手順の簡素化が行える。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-167	通関	I1D, IEX	I1DやIEXで通関士審査済み（CCA済み）であることを確認したい。	I1DやIEXでは、通関士審査済みであることは確認できません。他の業務ID1やIESの「通関士」欄でCCA済みが確認できますが、個別に申告の審査状況を確認したい。	CCA業務が定着して、コロナ対策での申告業務引継ぎに貢献している。既存の照会業務I1DやIEXに、通関士審査済の確認できる欄があれば、通関士の審査状況を担当者で確認できるため要望します。	通関士審査済みであることを速やかに確認でき、輸出入申告等効率が図れる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-168	通関	I1D, IEX	I1DやIEXで通関士審査済み（CCA済み）であることを確認したい。	I1DやIEXでは、通関士審査済みであることは確認できません。他の業務ID1やIESの「通関士」欄でCCA済みが確認できますが、個別に申告の審査状況を確認したい。	CCA業務が定着して、コロナ対策での申告業務引継ぎに貢献している。既存の照会業務I1DやIEXに、通関士審査済の確認できる欄があれば、通関士の審査状況を担当者で確認できるため要望します。	通関士審査済みであることを速やかに確認でき、輸出入申告等効率が図れる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-169	通関	I1F	食品等輸入届出情報照会について	現在、営業所ごとに利用者コードが異なり届出をした利用者コードでなければ閲覧が出来ない様になっております。	この利用者コードで閲覧を制限している所を同じ会社であれば営業所ごとの利用者コードに関わらず閲覧できるように変更できませんでしょうか？		関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-170	通関	IL1	照会結果の画面に添付状況の欄も設けてほしい。	現在の照会結果画面には添付状況を表示する部分は無いが、動物検疫側では、確認できるもよう。通関業者側にも表示されれば、電話で話す際に話が通じやすい。	現在の照会結果画面には添付状況を表示する部分は無いが、動物検疫側では、確認できるもよう。通関業者側にも表示されれば、電話で話す際に話が通じやすい。	現在の照会結果画面には添付状況を表示する部分は無いが、動物検疫側では、確認できるもよう。通関業者側にも表示されれば、電話で話す際に話が通じやすい。	第7次NACCOS更改において別業務にて同様の機能を実装予定
R04-171	通関	IL1	照会結果の画面に添付状況の欄も設けてほしい。	現在の照会結果画面には添付状況を表示する部分は無いが、動物検疫側では、確認できるもよう。通関業者側にも表示されれば、電話で話す際に話が通じやすい。	現在の照会結果画面には添付状況を表示する部分は無いが、動物検疫側では、確認できるもよう。通関業者側にも表示されれば、電話で話す際に話が通じやすい。	現在の照会結果画面には添付状況を表示する部分は無いが、動物検疫側では、確認できるもよう。通関業者側にも表示されれば、電話で話す際に話が通じやすい。	第7次NACCOS更改において別業務にて同様の機能を実装予定
R04-172	通関	IMS	MSXで添付したファイルを開いて確認できるようにして頂きたい。	添付したファイル名は確認できるが開く事はできない。現在は受信フォルダから送信したMSXを探してファイルを開いている。	添付したファイルを開けるようにして頂きたい。	書類の差し替える際、ファイル名ではどの添付ファイルを削除すべきかわからない場合がある。IMSでファイルを開く事ができれば効率的。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-173	通関	ISW	IS申告時のデータ保存期間の延長	IS後に保税蔵置場から搬出後、1週間程度でデータが削除されるため、ISWを行うためには全て手入力が必要になり手間が掛かってしまう。	IS時のデータは搬出後にはデータが残らないため、ISWの書類作成時にはデータが残っておらず、最初から手入力が必要になってしまう。SEA NACCOSや第7次NACCOSプロ変のAMAのようにデータが残ることになれば、手入力の手間が省ける。	ISW時の再入力の手間を省きたい	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-174	通関	JETRAS	JETRASで通関業者登録において、同一法人（5桁中下3桁が同じ）であれば、追加登録することなく、使用できるようにして欲しい	営業所ごとに通関業者登録をしてもらう必要がある	別の営業所でライセンスを使用する場合、営業所ごとに通関業者登録をってもらう必要がある。この手間を解消していただきたい	営業所の新設や統合をする際、全ての荷主に説明し、登録をってもらう必要がなくなる	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-175	通関	MIC	MIC申告の本申告入力業務コード追加	MIC申告の本申告入力をする業務コードが無く、MIDが必要。	MIC申告の本申告入力のみ入力を可能とする。	申告内容に変更がないMIDを削減し、許可書上もとの申告番号を維持することで、実際の訂正を伴うMIDと本申告に伴うMIDの識別を容易にする。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-176	通関	MIC	MIC申告時に包括保険、評価を適用することを可能とする	使用不可のためIDAでの事項登録を行っている	MIC申告時に包括保険もしくは、評価の包括申告受理番号を入力してMIC申告することを可能とする	IDAの事項登録件数を減らし、MIC申告の対象件数を増加させることで利用者の利便性向上を図る	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-177	通関	MIC/IDC/MEC/EDC	申告内容に関して税関からの確認事項等の通関業者への連絡をMSA/MSBなどのメッセージで通関営業所単位に戻すのではなく、各申告に対して確認事項を直接税関側で入力することを可能とし、かつその確認内容を申告を行った通関士に対して直接電文の形で通知を行うことを可能とすることを希望します。	現在はMSA/MSB業務にて連絡をいただいているが、在籍する通関士が多い場合に、担当者を探して社内の連絡を行う必要がある。またMSA/MSBに関しては全利用者間でのやりとりが可能であり、かつフリーフォーマットであることからシステムで取り込むことが容易ではない。	申告内容に関して、税関から申告者へ確認すべき事項が発生した場合の通関業者への連絡をMSA/MSBなどのメッセージで通関営業所単位に戻すのではなく、申告を行った通関士に対してかつ、個々の申告に対して電文の形で通知を行うことを可能とすることを希望します。例えばMICを通関業者から実施後、税関からの連絡事項が発生した場合には、当該申告に対して連絡事項を税関側で入力いただき、送信を行うことで通関業者に対して申告情報および連絡事項を含む電文が送信されるような形での改修を要望します。	現在MSA/MSBで税関と通関業者間の連絡を行い運用しているが、在籍する通関士を特定する作業が必要となり、対応に時間を要することがある。またMSBの場合には通関営業所単位でしか電文を送受信できないため、フローが分かれていたりすることで対応すべきものを特定するまでに時間を要することがある。またシステム化を検討したいが、MSA/MSB自体が多用途に用いることが出来るため、システム化することが容易ではない。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-178	通関	MOA	輸出自動車情報登録における車両特定番号の自動出力。それが不可の場合は輸出整理番号の自動出力。	道路運送車両法における輸出抹消登録を証明する為に中古自動車1台ごとに輸出整理番号と車両特定番号を入力している。	輸出自動車情報登録で輸出整理番号を入力すれば、車両特定番号を自動で出力してほしい。それが不可の場合、車両特定番号を入力すれば、輸出整理番号を自動で出力してほしい。	輸出整理番号は国土交通省が管理する為の1台に1つの番号であり、輸出整理番号で車両は特定される為、その番号を入力すれば十分と考える。中古自動車1台ごとに輸出整理番号を入力し、更に車両特定番号を入力する必要があり、多大な工数を要している。又、車両特定番号は英字・数字が混在する12桁程度からなっておりタイプミスが起き易い番号である。車両特定番号が自動出力されると大幅な工数低減と誤謬低減が見込まれる。過去に何度か同じような要望を出しているが進展がない為、車両特定番号の自動出力が不可であれば、車両特定番号を入力すれば、輸出整理番号を自動で出力することを要望する。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-179	通関	MSA	送信済み内容の再送信	MSA登録を行う際、一件毎すべての項目に対して入力を行っている	送信済み内容を用いて再送信できるようにしていただきたい	税関に対し貨物の引き取り情報を提供するために使用しているが件数が多いため、重複する宛先などの入力部分を省くことで手間を減らしたい	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-180	通関	MSX	IDC後の1Y書類のMSXでの送信を可能してほしい	MSX送信不可（原本提出）	当初申告区分1→許可後訂正後に1Yとなった申告について、MSXで書類を送付できるようにしてほしい	原本を提出する必要がなくなる	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-181	通関	MSX	MSX（申告添付登録）業務の容量増加をお願いしたい。	現行：1回の申告添付登録業務あたりのファイル数は最大10ファイル、合計容量は最大10MB。1ファイルの最大容量は1MB。	容量の増量。	特に1ファイル1MBは送信制限にかかることが多く困っている。増量して頂いた場合、業務がスムーズに行える。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-182	通関	MSX	1ファイルあたりの添付ファイルサイズを増やして頂きたい。	1ファイルあたり3MBまでの添付できるが、写真が多い場合などは上限を超えてしまい、書類を分けてスキャンし直している。	3MBから10MBへ増やして頂きたい。	スキャンをやり直すことが度々あるので、ファイルサイズが増えれば時間削減となる。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-183	通関	MSX	2021年9月にMSXの容量にかかわる変更があったが、「有効なファイルと削除したファイル合計は、最大30MBであるが、削除がなく有効なファイルのみであれば10MBである。有効なファイルのみとして、20MB以上を要望する。	有効なファイルのみとしては、10MBまでである	EPAのカラーを取り込んだとき、容易に10MBを超えることが少なくない。	複合機等の機能で、画質を落として、現行は対応しているが、今後のEPAの適用が増えるにつれ、負荷がますます、改善をお願いしたい。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-184	通関	MSX	添付書類コード:0Lの注意喚起	毒劇物該当の場合MSXで添付書類コード0L以外で送っても注意喚起はない	毒劇物該当の場合にMSXで書類を送る場合は、添付書類コード:0L以外は注意喚起するようにしてほしい	MSXで毒劇物輸入登録票の送付漏れを防ぐ	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-185	通関	MSX	メールの添付ファイルからそのままMSXにドラッグアンドドロップができるようにしてほしい。	メールの添付ファイルをいったんPCの画面に移した後、MSXに貼り付けている。	メールの添付ファイルからそのままMSXにドラッグアンドドロップができるようにしてほしい。	事務作業の工程が短縮される。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-186	通関	MSX	1Yの時でもMSY業務での書類の削除を可としたい。	1YでMSXを送付後、MSYで送付書類の削除や書類の差替えをしたい場合、現状1Yでは不可である。書類の誤送付があった場合、長崎税関管轄では、正しい書類をMSYで追加の上、削除できない書類についてはどちらが正しい書類かNACCS変更届を作成し、提出しなければならぬ。	1YのMSX業務においても、書類の削除ができるようにしていただきたい。	NACCS変更届作成・申請の手間が省ける。即座に正しい書類への差替えが可能になる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-187	通関	MSX	1Yの時でもMSY業務での書類の削除を可としたい。	1YでMSXを送付後、MSYで送付書類の削除や書類の差替えをしたい場合、現状1Yでは不可である。書類の誤送付があった場合、長崎税関管轄では、正しい書類をMSYで追加の上、削除できない書類についてはどちらが正しい書類かNACCS変更届を作成し、提出しなければならぬ。	1YのMSX業務においても、書類の削除ができるようにしていただきたい。	NACCS変更届作成・申請の手間が省ける。即座に正しい書類への差替えが可能になる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-188	通関	MSY	区分1Yで許可がされた分の通関書類データをMSXで添付登録後、誤りに気づいたらMSYで、登録したデータを削除できるようにしてほしい。	一度添付登録したデータは削除できない。	区分2や3で審査中の分は、MSYで添付登録したデータを“D”で削除できる。区分1Yで許可が切れた分も、同様の仕様にして欲しい。	税関職員からの指摘前に添付登録したデータの誤りに気づいた場合、データを削除できるため、税関職員が通関業者に誤りを指摘する時間が省ける。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-189	通関	OLC	保税運送での大型X線検査となった場合、検査となったことがわかるようにしてほしい。	区分2で保税運送承認となるため、検査を行ったかどうかはわからない	IDCと同じように区分3を出力できるようにしてほしい。	検査になった際の費用等を荷主等に請求する際に、検査を行った証明ができない。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-190	通関	OTA	原産国が日本製の場合、原産地コードJPを使用できるようにする。	仕出し国の原産地コードを入力している。	日本製であれば原産地コードJPを使用出来るようにしてほしい。	製品の原産地が明確になる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-191	通関	POA	令和2年8月31日付け薬生監麻発0831第4号厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長通知「医薬品等に係る輸入確認要領について」において、通知P11の第5全体の留意事項で「輸入品目数が多い場合、申請書の「品名」の欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付して申請することが可能であること。」、通知P21の第9その他注意事項で「輸入申告に係る通関関係書類については、NACCSの申告添付登録業務（MSX業務）を利用することにより、PDFファイル等の電磁的記録によって提出することが可能であること。」との記載があります。 ・当協会の会員企業が、同通知に基づき、NACCSを利用した輸入申告で、輸入品目数が多いことから別紙をPDFファイルとして添付して申請を行ったとき、厚生局では申請書の受理の確認を受けたけれども、税関では添付したファイルの確認が出来ないとのことで通関を認めてもらえなかったという事例が報告されました。 ・税関において添付したファイルの確認が出来ればこのようなことは発生しないと考えますので、税関でも添付したファイルの確認が出来るようNACCSのシステム改善を要望致します。	・厚生局では「別紙のとおり」として申請した輸入報告を受理してもらっているのですが、税関では、その「別紙」の確認ができません。	要望の概要をご参照 7. 要望に関わる事象の発生頻度につきましては、～10件/月を一時的に選択しております。 ・発生頻度は把握していませんが、当協会薬事法規研究委員会と東京医薬品工業協会薬事法規委員会加盟会社を対象に調査（2020年1月23日から3月6日実施）結果（別添）によると、回答のあった150社158部門のうち、電子申請に不便を感じるところについての設問で、「一度の申請で6品目以上では、追加申請を行わなければならない。」ことに24部門が不便を感じていると回答されており、無視できない頻度で発生しているものと考えます。	・NACCSについて、添付したファイルの確認が出来るようシステム改善することで、輸入品目数が多く、別紙を添付せざるを得ないような場合にも利用可能となり、輸入申告に係る通関業務がより一層の合理化、これに関わる業者、厚生局、税関のそれぞれの業務の効率化、軽減化が推進されるものと期待されます。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-192	通関	POA	POA（医薬品医療機器等申請業務） 薬監申請：品目数増加	1申請で品目が5つまでしか入力できず、6品目ある場合2申請しなければならない	品目数を増加してほしい	1AWBでの薬監申請数の削減	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-193	通関	SEA NACCSのモバイル化	可能かどうか分かりませんが、スマホアプリとしてSEA NACCSアプリ版を作成してほしい。 情報呼び出し（貨物情報、コンテナ情報、許可情報）の閲覧を可能にして欲しい。	SEA NACCSの利用は、PC上のみ。	スマホアプリとしてSEA NACCSアプリ版を作成してほしい。 情報呼び出し（貨物情報、コンテナ情報、許可情報）の閲覧を可能にして欲しい。	検査立ち合い者の利便性向上。 スマホで撮影した写真資料のMSX、MSB添付送信機能。 カメラ機能の有効活用。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-194	通関	TQB	電子TQの表示内容の改善	残数は表示されず、過去の使用履歴と残数を足し、その合計が割当数量と一致するか都度確認する必要がある	常に最新の残数が表示されるようにしてほしい	書類作成、通関士審査の時間短縮に繋がります。業務の効率化が図れると考える	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-195	通関	VAN	工場VANの輸出申告であるが、VANコードで貨物情報をつくるとき、管理番号、G/W、荷姿、M3が入力するが、管理番号に情報が紐づいているので、それを補完してほしい。	VANにて、管理番号及び個数、重量、容積が入力が必要。いれないとそれらがICGに反映されない。	VANコードで貨物情報をつくっていくが、それらを入力しないとICG上ブランクになってしまう。管理番号に情報があるので、それらがリンクされるとやりやすくなる。	管理番号作成時に、それらは入力しているため、2重打ちがないようにしてほしい	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-196	通関	VAN 又は VAE11	輸出申告後にバンニング情報登録(VAN)をした情報を訂正できるような仕様の変更を希望いたします。	輸出申告後にバンニング情報の誤りに気が付いた場合、訂正ができないため、輸出取りやめ再輸入を行っております。		輸出許可内容に誤りがないにも関わらず、コンテナ情報を訂正するために輸出取りやめ再輸入をしなくてはならない為、訂正が可能となるよう希望いたします。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-197	通関	オプション⇒設定⇒自動保存	保存時のファイル名に社内整理番号を使えるよう、選択肢を増やしてほしい	利用者コード 出力情報コード サブジェクト 日付時刻 の4種類	社内のコードを社内整理番号欄に入れている業者は多いと思います。これをファイルタイトルとして自動保存したい	NACCS情報と社内情報の紐づけができ、いろんな場面で利用の幅が広がる	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-198	通関		システム対応ができていない	現在BP⇒IBPに関して、税関出張所等が廃止となった場合や合併等で輸入者名が変更となった場合、マニュアル申告となる。①これをシステム対応できるようにしてほしい。②また、国庫に輸入者から直接入金できるようにしてほしい。	現在BP⇒IBPに関して、税関出張所等が廃止となった場合や合併等で輸入者名が変更となった場合、マニュアル申告となる。これを①システム対応できるようにしてほしい。輸入者名が変更となった場合は仕方ないかもしれないが、税関出張所等が廃止となった場合は税関当局の理由であるため、業者に大きな負担をかけるのは不合理である。②また、マニュアルの場合、現在の手続きは非常に手間と時間を要する。まず、前日までに輸入者より入金確認をし、申告当日早朝より、経理で発行した小切手を持参して、税関で納付書を受け取り、銀行（本店）に入金手続きを行う。領収書を受け取った後、再び税関に赴き、許可となる。	現在BP⇒IBPに関して、税関出張所等が廃止となった場合や合併等で輸入者名が変更となった場合、マニュアル申告となる。これを①システム対応できるようにしてほしい。システム対応できれば、全国の税関出張所の廃止に伴う業者泣かせを防ぐことにつながる。輸入者名が変更となった場合も同様にシステム対応を検討願いたい。輸入者の名称変更はしばしばあることなので、②左記のとおり、入金手続きが煩雑で、時間も1日かかりとなる。これが、経理より直接国庫に送金できれば、非常に簡素化できる。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-199	通関	その他	法人番号からも現在の輸出入者符号の機能を紐づけられるようにしてほしい	輸出入者符号をもとに法人番号やNACCS関連機能が紐づけられているが、法人番号からは紐づけされていない。	法人番号でもNACCSに登録されている情報を紐づけられるようにしてほしい。	社会も法人番号中心になってきており、輸出入者符号の取得や変更をいやがる荷主が増えてきておる。輸出入者符号の存在を知らない担当者も増えてきている。EDAなどの入力時、法人番号を入力すれば住所などを反映してもらえれば業務効率も上がる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-200	通関	マニュアル自動車通関証明申請について	ナックスで申請出来るようになると嬉しいです	税関業務部門に輸入許可書類を提出して内容確認後押印受領税関収納課に押印書類と申請書、通関証明押印フォーム提出。収納課より自動車通関証明発行。	ナックス新規業務作成（汎用申請でも可）	業務効率化、時短、押印業務廃止	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-201	通関	管理資料	輸出通関の許可後訂正一覧を出してほしい	有料サービスで始まったようですが・・・	輸出通関の許可後訂正に関して一覧データを管理資料で出せるようにするか、「申告一覧データ」に何らかの形で反映させてほしい。	通関業者に作成が義務付けられている「取扱明細簿」を「申告一覧データ」を加工して作っていますが、許可後訂正に関しては申告一覧データに反映されておらず、一つ一つ目で確認し、手入力しているため	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-203	通関	新規	輸出通関において、貨物の搬入確認業務を効率的にできるようにしていただきたい。	輸出通関において貨物が倉庫でBIC搬入がされているかどうかを確認するのに、一件ずつICGを送信する必要がある。	輸出通関において貨物が倉庫でBIC搬入がされているかどうかを確認するのに、一件ずつICGを送信する必要があります。保税におけるISWのように、ECRを送信した貨物に関して搬入、未搬入を倉庫ごとに一覧確認できるコマンドを作っていただきたい。	搬入確認のためのNACCS作業が100分の1/月になる。	第7次NACCS更改において対応予定になる。
R04-204	通関	新規	輸入通関において、貨物の搬入確認業務を効率的にできるようにしていただきたい。	輸入通関において貨物がCY、倉庫で搬入がされているかどうかを確認するのに、一件ずつICGを送信する必要がある。	輸入通関において貨物がCY、倉庫で搬入がされているかどうかを確認するのに、一件ずつICGを送信する必要があります。登録した貨物について搬入が入ったらお知らせしてもらえようしてほしい。	搬入確認のためのNACCS作業が100分の1/月になる。	第7次NACCS更改において対応予定になる。
R04-205	通関		『口座使用不可通知書情報』への出力項目の追加	申告番号、輸入者名、口座情報が入力されている。現状は申告番号からHAWBを検索している。	『口座使用不可通知書情報』の出力内容にHAWBを追加で表示する	通関業者はHAWBでデータ管理を行っており、通知書にHAWB情報があることで、容易に対象HAWBの把握が可能となる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-206	通関		net-NACCSと自社システムとのデータ連携させたい。	net-NACCSと自社システムとのデータ連携が出来ない。NACCS（GW端末）をメインに使用している。	自社システムから、NACCS（GW端末）とnetNACCSを使い分けられるようにしたい。自社システムからは1か所に送信し、NACCS（GW端末）データとnetNACCSデータを判断してほしい。	NW障害による代替手段の確保により、申告遅延を防ぐ。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-207	通関		NACCSで各官署での申告前非違を入手できる機能の追加	NACCSに機能がない	・NACCSで各官署での申告前非違を入手できる機能の追加 ・現状、税関まで紙を取りに行くか、返信用封筒で依頼するしか入手する方法がなく時代に合った対応と言えない。	・各通関業者が税関へ移動する手間や、返信用封筒で依頼する手間の削減 ・遠方の通関業者などもタイムリーに確認が可能となる ・現在は税関ごとに公表・非公表がバラバラであり配布運用の統一化が可能	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-208	通関		食品届（FAINSのIFA業務）や動物検疫申請（ILA業務）にかかるモニタリング検査実施後に、厚生労働省の検疫所や農林水産省の動物検疫所から見本採取票3枚と取去証1枚の発行がある（動物検疫所の場合は見本採取票2枚だけ）が、現行の業務では保管倉庫管轄の税関保税部門に1枚を渡し、その他には押印をもらい、検疫所に返却・保管倉庫と荷主に1枚ずつ渡すという業務がある。これをすべてナックスを使用したオンラインで対応いただきたい。税関や倉庫、検疫所に車で走って押印をもらったり、届けたりして非常に非効率でガソリンをつかって環境に負荷をかけた作業になっている。	要望の概要を参照ください	要望の概要を参照ください	要望の概要を参照ください	食品等輸入届出については、第7次NACCS更改において対応予定
R04-209	通関		「マニュアルの自動車通関証明申請」従来のマニュアル申請しか方法がない自動車通関証明の申請をナックスで出来るようになると嬉しいです	マニュアル申請 税関の業務部にて許可書類提出。担当官の確認、押印後 税関 収納課にて押印受領の許可書類、申請用紙等提出。 通関証明を申請し、発行。	ナックスでの新規業務希望（汎用申請でも可）	訪庁不要 業務効率化、	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-210	通関		「マニュアルの自動車通関証明申請」従来のマニュアル申請しか方法がない通関証明の申請をナックスで出来るようになると嬉しいです	マニュアル申請 税関の業務部にて許可書類提出。担当官の確認、押印後 税関 収納課にて押印受領の許可書類、申請用紙等提出。 通関証明を申請し、発行。	ナックスでの新規業務希望（汎用申請でも可）	訪庁不要 業務効率化、	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-211	通関		厚生労働省（食品衛生）が職権で行う見本採取にかかる業務の新設	食品衛生法等の他法令にかかる官庁の公務員が見本採取を行う場合は、公務員が「見本採取表」作成し、税関が確認印を押印することになっているが、実態は、他官庁が、見本採取後、事務所に帰った後に「見本採取表」作成し、通関業者等が税関の確認印を押印してもらい、見本を採取した蔵置場に渡すとともに、1部を検疫所に返付している。 北海道内の食品手続きは、小樽検疫所で行っているが、主に冷凍冷蔵庫の多い、札幌、石狩での見本採取が多い。 （札幌から小樽検疫所へ行って「見本採取表」を受け取り、札幌、石狩の税関で確認印を受け、再度、検疫所に返付することは、非常に時間を要する。）	見本採取表（取去表を含む）は、検疫所が、NACCSで採取後発行し、関係先（税関、蔵置場、通関業者）にその通知を行う新規業務を作成して欲しい。 （検疫所が見本を採取した際に、発行する取扱いであるならば、事前通知（検疫所→採取通知（確定した数量等の通知））の処理を行うことで可能と思われる。	NACCSで処理することにより、移動時間がなくなり、効率化が図られる。 （札幌-小樽間は、片道 自動車で約1時間、電車を利用して、ほぼ同程度の時間が必要である）	第7次NACCS更改において対応予定
R04-212	通関		入力時にアンダーバー（_）を入力出来るようにしてもらいたい。	アンダーバーは入力できない。	インボイス番号等でアンダーバーが指定される時があるが、入力出来ずハイフン（-）等で対応している。	顧客への事前説明等の時間削減	第7次NACCS更改において対応予定
R04-213	通関		延納やリアルタイムの使用実績のメール配信	現在は日報や月報などをNACCSから落とす必要がある	NACCSIに取りに行くのではなく、日別、州別、月別などのタイミングとメールアドレスを事前に登録しておくことで、自動的に配信先にメール配信されるようにしてほしい	輸入者の延納・リアルタイム使用の促進の為、より利便性のあるサービスを拡張してほしい	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-214	通関		税関審査の状況確認機能	税関へ後続業務を行ってもなかなか承認又は許可が上がらないので、電話で問い合わせを行っている。	NACCSで送信は行ったが、なかなか承認や許可及び受理等にならない為、書類確認等が審査中なのか未確認なのかを確認出来る機能を追加してほしい。	状況が確認出来ることで、後続作業の段取りが判断できる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-215	通関		NACCSを通じて税関審査の催促	税関審査が遅い場合、電話にて問い合わせを行っている。	審査が遅れている場合、NACCSにて催促できるような機能を追加してほしい。	電話で催促しづらい面があり、NACCSで出来れば問い合わせの手間が省ける。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-216	通関		日本語での申請が可能（ひらがな又はカナ）	全てローマ字入力に対応。	ひらがな又はカナ入力を可能にしてほしい。	書類が見やすくなる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-217	通関		無償貨物のアラートの省略	レンジアウトしている場合、アラートが出る	無償貨物のアラートの省略	レンジアウトのアラートが出るとほぼ区分2となる。無償貨物なので、通関の迅速化の為にアラート表示を省略して欲しい。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-218	通関		入力時にアンダーバー（_）を入力出来るようにしてもらいたい。	アンダーバーは入力できない。	インボイス番号等でアンダーバーが指定される時があるが、入力出来ずハイフン（-）等で対応している。	顧客への事前説明等の時間削減	第7次NACCS更改において対応予定

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-219	通関		船積み関連資料の電子帳簿保存について	・保存対象となる船積み関連資料一式をNACCSで保存できない ・輸出入、船積書類の保管、閲覧、取り出しをNACCSで行えない	電子帳簿保存法改正されるが各社毎に仕組み構築が必要で電子保存化が進まない。NACCS一括保存出来れば改ざん防止等の仕組みが簡素化、各社毎の開発が不要になる ・事業者での書類や書類データの保管を行うためには負担が大きいため。		システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-220	通関		NACCS:特定輸出者の貨物通関リスト・蔵置予定場所の反映	特定輸出者が届け出ている 貨物リスト・蔵置予定場所をNACCS上でチェック出来ない	社内システムにおいても管理・確認をしているが、荷主と税関の双方で確認する事が望ましいと考える為		システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-221	通関		食品届出の共通管理番号について	保存期間が10日間しかないで、3ヶ月程度に期間を延長する変更はできませんでしょうか？			過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-222	通関			申告官署と代表税番に対し、部門番号が違う場合、エラーが出る様に変更できませんでしょうか？			他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-223	通関			各種EPAで段階的に税率が変更される税番について、申告予定年月日を改正される日以降にすれば変更後の税率になる様に変更できませんでしょうか？			過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-224	海上入出港	APA	APA指定地外交通 登録時の仕様変更	情報登録時に手入力しか対応していない。	既に入力済みの情報（VTX乗組員情報等）を引用可能にして頂きたい	すでに入力してある情報を2度入力しなくてはならず、手間になるし間違いの基になる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-225	海上入出港	APA	APA指定地外交通 登録時の仕様変更	生年月日と年齢をどちらも入力する必要がある	生年月日を入力すると自動で年齢を表示するか、生年月日のみにして頂きたい	対象者が多いと年齢を計算するのに時間がかかる。また間違いの基となる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-226	貨物	ICG	ICGの表示項目の追加	ICGでコンテナサイズを確認している	FCLのICGにコンテナサイズを表示してほしい	ドレー手配の際、コンテナサイズの確認が必須となるが、ICGで確認できればICGでの確認が不要となり、業務効率化に繋がる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-227	海上入出港	MSB	MSB 添付ファイル登録 回答時の仕様変更	指定地外交通を複数申請する場合、許可になったか否かの通知のみで申請した人それぞれの許可状況の確認ができない	申請した人それぞれが許可となったことが確認できるようにして頂きたい	手続き漏れなく許可になっているか確認するため	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-228	海上入出港	NETNACCS全般	複数の回答を同時に展開できるようにして頂きたい	二つ以上の回答を同時に展開できない		より円滑に申請したい	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-229	貨物	OLC	他法令による検査の対象となった貨物（コンテナ）の、検査結果（許可）前のOLT申請の制限	他法令による検査時にコンテナのリシールが発生するが、現在の仕様では他法令の検査が指定されている貨物でもリシールの登録前にOLTの申請、許可が行える為、OLTのシールがリシール前の物のまま許可される。	他法令の検査が発生したコンテナについては、検査の合格、リシールの登録がされるまでOLT申請されない様ロックする。	動植検対象となったコンテナで、検査前にOLT申請され許可されたため、リシール前のシール番号でOLT申請、許可された事例があった。同様の事例を防ぎ、ヒューマンエラー防止の一助としてシステムでサポートできないか。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-230	貨物	OLC	他法令による検査の対象となった貨物（コンテナ）の、検査指定時にOLT申請されている場合のメッセージの表示	他法令による検査時にコンテナのリシールが発生するが、現在の仕様では他法令の検査が指定される前にOLTの申請、許可が行える為、OLTのシールがリシール前の物のまま許可される。	他法令の検査が発生したコンテナについてはOLT申請がされている場合、検査の合格、リシールの登録をする際にメッセージを表示する。	動植検対象となったコンテナで、検査前にOLT申請され許可されたため、リシール前のシール番号でOLT申請、許可された事例があった。同様の事例を防ぎ、ヒューマンエラー防止の一助としてシステムでサポートできないか。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-231	海上入出港	TPC/WPC	リアルタイム口座を使用したのトン税納付申告を誤って行い、誤納付した場合に、税関の権限下において救済措置の設置していただきたい。	TPC を行なう際に一時納付・都度納付を誤って申告処理を行ない、納付が完了してしまった場合において、訂正・差戻しができず、船社または代理店の負担となってしまふ。（TPC 送信前に支払方法・納付額の確認メッセージが出ることは承知しております）	「とん税納付申告」を行ない、納付完了後に誤納付が判明した場合に、「納付当日」もしくは「出港届（VOX/WOT）」の処理前であれば、船長・船舶代理店が「NACCS登録情報変更申出」により撤回を申し出る旨を送信し、税関監視担当部門がこれを認めた場合において、「とん税等一時納付情報訂正」業務により、誤った「とん税納付申告」を撤回する旨をシステムに入力することで、再度「とん税納付申告」で正しい申告が可能となるよう、プログラム変更を要望する。	とん税の誤納付、過払いの防止	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-232	海上入出港	VIX	エラーチェックの改善	国際基幹航路（特定港寄港）対象船にも関わらず、項目にYが無くてもCOMPLETEとなってしまう	Yの入力が無ければエラーとしてほしい	申請ミス削減	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-233	海上入出港	VPX	入港前統一申請VPXの際に、出入国管理局への乗組員の変更ができないため、変更できるようにして欲しい。	変更があった乗組員をFAXで連絡をしている。		乗組員の変更を他の官署と同時にでき、手続きミスの減少になる。ペーパーレスによるSDGsに繋がる。	ご要望については、法務省にお伝えした結果、法務省から実現の可否を含め継続して検討する旨回答を得ております
R04-234	海上入出港	VPX	入港前統一申請VPXの際に、出入国管理局への動静変更ができないため、変更できるようにして欲しい。	変更があった動静をFAXで連絡をしている。		乗組員の変更を他の官署と同時にでき、手続きミスの減少になる。ペーパーレスによるSDGsに繋がる。	ご要望については、法務省にお伝えした結果、法務省から実現の可否を含め継続して検討する旨回答を得ております

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-235	海上入出港	VPX	コロナ禍における上陸禁止告知書の発行・提出をNACGS上でできるようにしてほしい	現在NACGS上には業務自体がなく、ファックスを用いて入管とやり取りをしている	VPX上に申請業務を追加し、帳票で出力できるようにしてほしい	工数の削減	ご要望については、法務省にお伝えした結果、法務省から実現の可否を含め継続して検討する旨回答を得ております
R04-236	海上入出港	VPX	VPX 入港前統一申請【事前通報】の仕様変更	東京湾入港時の通報(北航)と出港時の通報(南航)の手続きが必要だが、一度に一方の入力しかできない。	ほとんどの場合、北航と南航の手続きが必要なので、VPX入港前統一申請の送信の際にどちらも入力できるようにして頂きたい	一度に手続きができる、VPX送信後に発行される番号が1つの為管理しやすい。 現状の手続きは不便な為FAXで行っているが、NACGSで使用できればペーパーレス化が実現できる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-237	海上入出港	VPX(入港前統一申請)	外船舶の入港予定時間変更が出た際、入管も訂正が出来るようにしてほしい	入管以外の官庁は訂正で最新情報が送れるが入管だけは訂正を受け付けるシステムになっておらず、わざわざ新規申請として入管だけ送っている	一つの入港前統一番号で統一したい、番号がたくさんあると煩わしい	一つの入港前統一番号で統一したい、番号がたくさんあると煩わしい。一つの番号で統一したら別担当者が迷うことがなくなる	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-238	海上入出港	VPX(入港前統一申請)	外船舶の入港予定時間変更が出た際、入管も訂正が出来るようにしてほしい	入管以外の官庁は訂正で最新情報が送れるが入管だけは訂正を受け付けるシステムになっておらず、わざわざ新規申請として入管だけ送っている	一つの入港前統一番号で統一したい、番号がたくさんあると煩わしい	一つの入港前統一番号で統一したい、番号がたくさんあると煩わしい。一つの番号で統一したら別担当者が迷うことがなくなる	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-239	海上入出港	VPX, VIX, VOX	入管へ申請したものの回答が欲しい	IVSを参照すれば申請されているか確認できるが、受理されているか確認できない		通報漏れの防止	ご要望については、法務省にお伝えした結果、法務省から実現の可否を含め継続して検討する旨回答を得ております
R04-240	海上入出港	VTX	VTX 本船情報登録の仕様変更	一度出港してすぐに同じ港に寄港する場合、同じコールサイン、航海番号で登録できない(出港後再度登録できるための期間は不明)	航海番号の指定がない場合「1」で登録する都が多く、頻繁に寄港する本船に関しては現状同じ番号を使用できる仕様にしてほしい	「1」以外の数字や文字を使用することも可能だが、管理上統一する必要がある為	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-241	海上入出港	VTX01	外国寄港地情報(入港前外国の寄港地)の表示に関する改善	現行の外国寄港地情報(入港前外国の寄港地)欄は1~30まで上から順に入力欄があるが、入力の際の日付け・時系列の順序について説明の表示がない	寄港が古い順なのか、新しい順なのかわからず記載してしまうことがあり、ミスに繋がる。申請画面のどこか、もしくは欄外の表示で古いものか新しいものかどちらを上書きしたら良いか記載願いたい。	誤申請防止	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-242	海上入出港	VTX01 VPX	VTX01およびVPXの改善	同一の航海番号で複数のVPXを行うと、寄港地枝番を分けているにも関わらず、税関で乗組員情報が把握できない		通報漏れの防止	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-243	海上入出港	VTX02	VTX02の入力終了欄に関する改善	VTX02の入力後、登録する際に入力終了欄に“E”を入力する必要があるがそれをなくす事はできないか	VTX02の入力後登録する際に入力終了欄に“E”を入力する必要があるが、入力してなくても登録ができてしまうので入力を失念する事もある。“E”の入力に意味を感じず、必要がないのであれば削除した方が良いと感じる。	余計な入力工数の削減	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-244	海上入出港	VTX02	船員の役職のコードの種類を増やしていただきたい。	コードが無い役職は OTH (OTHER) で代用している。例) Messman, OS などが無い。	OTHERが多い場合、税関など関係官庁から問い合わせが実際の役職を問われる事がある。	コードの種類が増える事で関係官庁に対し明確な船員の詳細を伝える事が出来る。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-245	海上入出港	VTX他	エクセル等外部ファイルからのコピー・貼り付け対応	一部項目についてはコピーした情報を貼り付けることができるが、できない箇所も多々ある。	VTX運航情報の「外国寄港地情報」にはコピー、貼り付けができない。寄港地情報は本船よりエクセルで受け取る為、そのままの情報を使用した	本船からの情報をできるだけそのまま使用することで間違いをなくすることができる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R04-246	海上入出港	WIT WPC	在来船の入港届提出は、WITコードで行っている。その後、WPCIにてとん税納付を行っている。	入港届提出後、画面上においてもアラートなし	1) 入港届提出後、アラートを表示させてほしい *アラート内容「とん税納付期限は〇月〇日迄」 2) 現在送信済みとなる画面上、「とん税納付期限〇月〇日」と表示させてほしい 3) 入港届提出情報で、「とん税納付期限〇月〇日」と情報欄等に通知してほしい	とん税納付期限は、入港より5日以内に納付しなければならぬ。この期限は、入港日を含む期限であるため、勘違いを起こしやすい。よって、上記要望の1を優先順位の最上位とし、不可なら2、3とシステムでの防御を希望する。 この納期限を超過させると、税関の決定となるため、大きな問題となるため。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-247	海上入出港	WPT	入港前統一申請において、複数の官庁に一度に送信できるようになっているが、チェックボックスにチェックを付けていない官庁の申請にエラーがあるとエラーとして引っかかるのをなくしてほしい	入港前統一申請において、複数の官庁に一度に送信できるようになっているが、チェックボックスにチェックを付けていない官庁の申請にエラーがあるとエラーとなり、送信できない	過去の申請等呼出を多用するのですが、必要箇所を訂正して、送信予定の官庁にチェックを付けて送信前のエラーチェックを押すと関係ない官庁でエラーとなり、エラー箇所を探すのに苦労しています。慣れてきたので、だいたいどこがエラーかわかってきましたが、検査所や港長でエラーになることが多いです。	送信する必要が無い官庁の申請内容の訂正を無くすため	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R04-248	海上入出港	W業務全般	過去に申請したデータ保存期間の延長	過去履歴が数日で消えてしまう。	WEB NACGSで内船舶の入港届や出港届を送信しようと過去データの呼出しをするが、既に消去されており新規入力せざるを得ない場合が多い。	より円滑に申請したい	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R04-250	通関		CFS輸入貨物の予備申告時のケースマークの扱い変更	CFS輸入貨物の予備申告を行った際は、倉庫搬入時に入力された記号・マークが上書きされない	記号・マークの細かな内容の相違により、予備申請後・本申告前に記号・マーク訂正が発生する場合があります		他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-251	海上入出港		危険物明細・危険物事前連絡表作成のNACCS追加に伴う他法令関連の運用改善	NACCSにおいて危険物明細情報登録と危険物・有害物事前連絡表作成業務が追加されたが、システムはあっても運用面で利用し難い	危険物明細のサイン欄はアルファベットの羅列となり、本船のキャプテンが肉筆や刷り込みサインでない場合、危険物明細の受取を拒否する可能性があること、また事前連絡表には港湾労働者災害防止協会の押印が必要であることから、両帳票をNACCSで作成し、紙で出力し、押印取得、サイン追記しなければならない。NACCSで危険物明細と事前連絡表の情報授受ができること業務が効率化できる。		過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-252	海上入出港		トップメニュー画面に戻るボタンが欲しい	該当するボタンが無い	WebNACCSのロゴをクリックするとトップメニュー画面に戻るようしてほしい	戻るボタンを複数回押すのを減らすため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-253	航空入出港	CAI・PCH	CAI業務のスプリットで到着分が分れた際の対応について	CAI（輸入貨物情報変更）業務についてCAI保留になった際、スプリットで到着便が分れると、到着便毎に保留解除を行わなければならない。	SPLITで到着して保留になった案件は2ndで到着した便で保留解除すると1st便は何もしなくとも保留解除してほしい	両方の便でCAI保留を解除しないとLDRを切る事が出来ず、何が起きているのかわからなくなる。全量到着しているので、わざわざ便毎に保留解除する必要はないのでは。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R04-254	航空入出港	HPK	仮陸案件の仕向地登録について	現在はHAWBのHCH業務で仕向地をNRTで登録してから、CAI業務で仕向地をLAXに変更して仮陸貨物として登録している	HCH業務で仕向地を日本以外のコードも入れられるようにしたい	CAI業務で訂正した際に全て保留案件になり、保税部門に保留解除してもらわないとLDRを登録する事ができない	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-255	航空入出港	OLT	一度目の情報送信後に表示されるページに運送先名称が表示されるようにしてほしい	運送先保税蔵置場コードは表示されるが、名称は表示されない	一度目の情報送信後に表示されるページに運送先名称が表示されるようにしてほしい	名称が表示される事により承認前に運送先間違いに気づくことが出来る確率が上がる	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-256	その他	APA HYS	APA、HYSの処理をするのに受信フォルダのSAA1010、CAL0020等の申請控の文書は画面を展開した段階で開封済となるようにしてほしい。	申請控、許可書とも全件印刷しないと開封済とならない。未開封の文書は赤字のまま残っている。（未開封の状態でも削除は可能）しかし正式な文書は許可書（SAA1070、CAL0061）を印刷するので、同内容の控の文書まで印刷する必要はないと思われる。	受信した申請控の文書は画面で展開した段階で「開封済」とし、印刷を必須としないようにしてほしい。	申請控は破棄するので、不要な紙文書となる。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-257	その他	CBE5100 CBD5100	輸入申告一覧データ 輸出申告一覧データ この管理資料電文に審査担当通関士コード（送信通関士コード）が表示されるようにしてほしい。	現在は送信通関士のコードは表示されていない。	現在は月単位で、特定の通関士が何件の申告を行ったか把握する術がない。月単位での通関士申告件数を知りたい為、輸入申告一覧データ等の管理資料電文に、申告単位で送信通関士コードを表示する欄を設けてほしい	通関士の勤務状況（審査の件数）を把握する必要がある為。月々の審査に偏りがあるのか、ないのかを把握するため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-258	その他	CBE5100 CBD5100	輸入申告一覧データ 輸出申告一覧データ この管理資料電文に審査担当通関士コード（送信通関士コード）が表示されるようにしてほしい。	現在は送信通関士のコードは表示されていない。	現在は月単位で、特定の通関士が何件の申告を行ったか把握する術がない。月単位での通関士申告件数を知りたい為、輸入申告一覧データ等の管理資料電文に、申告単位で送信通関士コードを表示する欄を設けてほしい	通関士の勤務状況（審査の件数）を把握する必要がある為。月々の審査に偏りがあるのか、ないのかを把握するため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-259	その他	CYC	取り消しの2欄目以降の有効化	CYCの取り消しについては1欄目しかできない。	2欄目以降も有効にしてほしい。	空パンのキャンセル等で一括取り消しができるようにする。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-260	その他	I01 H51	管理資料（I01、H51）表記変更 審査区分の1を、1と1Yに分けて欲しい。 許可日の入ったBPは、IBPと表示して欲しい。	日報のI06、H56と照合している。許可日を目視で確認	1Yを含むMSXの件数を把握する際に2つの資料を使用するのは手間である。BP、IBPの件数を抽出するのに不便である。	管理資料を加工するようになっていのに、複数の資料を使用するのは手間である。それぞれ許可書（承認書）には1Y、IBPと表示されているので、正確に抽出して下さい。一覧と言ったら正確に抽出して欲しい。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-261	その他	IDI	宛先税関以下の項目削除	申告官署毎に入力	利用者コード単位で照会できるようにしてほしい	官署の自由化により申告の一覧で官署毎を調べたいのに申告官署を入力するのは矛盾を感じる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R04-262	その他	IFG	IFGの事前解除	1輸入申告に複数の食品がある場合に1件1件IFG業務が必要である。	共通管理番号でIFGが出来るようにして頂きたい。	1件の輸入申告に対して複数の食品を紐づけることが多く、IFG業務が手間になっています。共通管理番号で紐づけている食品を一括で事前解除を行いたい。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R04-263	その他	IIF	食品届出の訂正を行ったものは繰返部の審査担当員名1・2を、訂正後の審査をした担当者名に情報を更新して反映させてほしい	繰返部の審査担当員名1・2は、届出の訂正があった後も、当初の審査担当者名が入力されたままであり、訂正後の審査状況が反映されていない	食品届出を訂正したものは、再度検疫所が審査していると思うので、その審査担当者名を入力・閲覧できるようにしてほしい	訂正した届出の審査状況がみえない。検疫所への審査状況問い合わせが減る。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R04-264	その他	ILC	動物検疫申請の再出力	ILCを行った端末のみにしか出力しない。	食品のRIFのように再出力したい。	申請の紛失、またテレワークに用いる為、他の端末から再出力できるようにして頂きたい。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R04-265	その他	MSF01	書類追加送付時の方法について	一度書類を添付し、送信した後、追加で資料を添付したい場合は、当初送信した添付書類を削除し、改めて添付しなければならない。	追加分の書類のみを追加で添付できるようにしてほしい。	削除するための送信、また、当初添付している書類も新たに添付しなければならないという手間を省ける。	第7次NACCS更改において対応予定

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-266	その他	MSF01	厚労省への衛生証明書原本の提出をシステム化	衛生証明書提出の必要がある貨物は、現状衛生証明書の原本を厚労省へ提出に行っており、提出後でないと審査が進まない	農水省と同様にシステムの添付機能での提出を認めて頂きたい	届出から原本提出まで審査が進まないというタイムロスが無くなる。また、提出に行く手間も無くなる	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-267	その他	MSF01 MSF02	通関の【MSX】に対する【MSY】と同様の仕様に変更。	現状のMSF業務では、当初添付した書類に追加添付が出来ず、一旦削除の上、添付し直す必要がある。	MSFで行った当初添付ファイル情報を呼び出し、削除・追加が行える仕様にして頂きたい。	特に追加添付の場合に作業効率が上がると共に、当初添付情報の再確認も出来て利便性も向上する。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-268	その他	TOA	関割のNACCS登録をした通関業者に出力される裏落とし履歴について、出力が必要かどうか選択できるようにしてほしい	関割を登録した通関業者と、申告（裏落とし内容の登録を）した通関業者の両方に裏落とし履歴が出力されている。	NACCS登録した通関業者には、他通関業者の申告時も裏落とし情報が出力されている為、登録者は出力可否を選択できるようにしてほしい	他社分の裏落とし分の出力は不要なので、その分の用紙を削減できる。（裏落とし回数が多いと用紙枚数もかさみます）	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-269	その他	WLT(Web NACCS)	荷役機械使用許可申請書を一回ごとではなく、まとめて申請できるようにしてほしい	現行は一回ずつの申請しかできない。一か月の使用回数が多い利用者は別途エクセル等でまとめているので、それを例えば一か月単位で一斉に申請できるようにしてほしい	現状は、紙ですが、今後Web NACCSを使用したいが、WLTの包括的な運用が可能かどうかお伺いします。	一か月に一回だけの申請手続きで済む	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-270	その他	WLT(Web NACCS)	荷役機械使用許可申請書を一回ごとではなく、まとめて申請できるようにしてほしい	現行は一回ずつの申請しかできない。一か月の使用回数が多い利用者は別途エクセル等でまとめているので、それを例えば一か月単位で一斉に申請できるようにしてほしい	現状は、紙ですが、今後Web NACCSを使用したいが、WLTの包括的な運用が可能かどうかお伺いします。	一か月に一回だけの申請手続きで済む	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-271	その他	フィードバック	変更要望に対するフィードバックが欲しい。着手するのにかしないのか。	各社からプログラム変更要望を求めているだけで、次にどのような行動を起こすかに対してフィードバックが無い。	個々の業務に対して変更要望を提案しているが、フィードバックが無い。個々の提案のどのような点か実現に結びつかなかったか、もしくは着手予定なのかフィードバックが欲しい。当社から毎回のように提案している案もあるが実現しておらず、貴社に対しての期待度が薄まってしまう。	提案内容の微修正や代替案などが生まれやすくなり変更案が充実化する。	検討対象外（プログラムに関する案件以外の要望等）
R04-273	その他	管理資料	J09（NACCS - I）修正申告履歴情報（共通部）に延滞税を出力する	現在はJ09（NACCS - I）修正申告履歴情報（共通部）に延滞税の項目が含まれていないため、別途配信される管理資料の情報と付け合わせて税額の確認を行っている。	J09（NACCS - I）修正申告履歴情報（共通部）に延滞税を出力することを要望します。	現状は複数の資料を組み合わせて延滞税額の把握をしているが修正申告履歴情報のみの管理で修正申告にかかわる納税情報を把握することが容易になる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-274	その他	管理資料情報 取だし	H01輸出申告一覧データ/151輸入申告一覧データについて出力項目の追加希望	仕向人/仕出人は出力されない	H01輸出申告一覧データ/151輸入申告一覧データに仕向人/仕出人およびそれらの国コードも出力してほしい	通関状況の分析に有用である。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-275	その他	統計資料の新 規作成	例えば当該取扱貨物に対する統計資料がExcelなどで抽出出来るようにしてほしい。	船会社に関する実務的な統計資料は「コンテナリスト」関連の2件しかない。	船会社として多くの申請や届出を行っているにもかかわらず、その統計を一目でデータベースとして把握できないのは非常に残念。例えば、積荷目録情報登録件数や、その情報訂正件数、保税運送承認件数などそれぞれの会社がどのくらい申請や届出を行っているかを可視化できるような統計資料のメニュー作成してほしい。	船会社にかかる統計資料の抽出メニューが「コンテナリスト」以外存在しないが、統計資料があれば今後費用対効果を天秤にかけて色々な可能性の模索ができる土壌を整備できる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-276	その他		民間管理資料（G05貨物取扱等一覧データ）への貨物情報からの記号番号の反映	民間管理資料（G05貨物取扱等一覧データ）の取得の際に貨物の記号番号が空欄の為、データを印刷して別管理している。	すでに登録されている貨物情報から記号番号のデータを民間管理資料（G05貨物取扱等一覧データ）へ反映してほしい。	貨物の記号番号は保税台帳の記載項目である。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-277	その他		WEBNACCSにおける回答情報の通知機能の追加	申請に対する回答を断続的に帳票確認で検索して確認している。	回答がでたら自動でわかるようにしてほしい。若しくは、帳票確認のページを自動でリロード出来るようにしてほしい。	回答がでるまで、帳票確認ボタンをいちいち何度も押さなくてはならない。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-278	その他		ステータスとは独立したメール受発信	ステータスが申請者側にある期間はMETI側からの追加質問・要求にすべて回答準備ができないと再申請できない。また、ステータスがMETI側にある場合、申請者からのシステム送信は出来ない。	ステータスとは独立してメールを送り取りできるようにしてほしい	METIから五月雨式に質問・要求があっても全ての回答準備が整うまで再申請が出来ないため余計な時間が掛かるケースがある。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-279	その他		特殊文字の入力	入力不可の特殊文字によるエラー	出来るだけ多くの特殊文字を入力可能にして欲しい。例として、通常入力できそうな“①”は特殊文字にあたり、NACCSシステムでは入力できないため“1”と入力することが必要となる。	業務効率化と特殊文字の置き換えにより情報誤認を回避する。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-280	その他		必要な入力箇所の設定とWarning表示	入力“必須”箇所への入力漏れに対してのみエラーとなる。	“必須”入力項目以外に、METIから入力要求がある。必要な入力項目をMETIにより設定し、入力漏れの際にWarningが出るようにしてほしい。	METI要求の理解と関係者の業務効率化	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R04-281	その他		申請書ファイル形式の拡大	NACCS申請のファイルは“jet”形式であり、アプリがインストールされている端末以外では閲覧できない。	ファイル形式をもっと汎用性の形式も認めてもらいたい（WORD/PDFなど）。また、jet形式資料のPDF出力を可能にしてほしい。	関係者に入力内容の確認を求める場合、スクリーンショットを行う必要があり、煩雑である。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R04-282	その他		添付ファイルの容量・数量制限引き上げ	容量10MB超、または10ファイル以上の送信は、“添付書類等追加申請”で提出	添付ファイル容量を1GBに引き上げ、また、ファイル数上限の引き上げを願いたい。	ファイル分割の回避。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-283	その他		METI補正依頼の複数宛先化	宛先が、NACCS入力担当者のみ。	METIから補正依頼がある場合、関係者全員にNACCSシステムから連絡が来るようにしてほしい。	申請上の担当者として、NACCS入力担当者が別の場合など、タイムリーに対応できない可能性がある。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-284	その他		輸出入許可書申告番号末尾の運用	輸出入許可書に記載されている申告番号は、変更等があった場合に、末尾が1ずつ上がっていく。 通関審査時の訂正でも同様の仕様であり、通関審査時の訂正と、許可後の訂正が区別できない。	通関審査時の訂正と許可後の訂正を区別するために、通関申告後の修正申告は現行の仕様とし、通関審査時の訂正は申告番号末尾繰り上げではなく、例えばアルファベット等を用いて訂正回数を示す。	荷主の指示ミスが減らすため通関審査時の訂正件数を掌握したい。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-285	その他		利用者IDの統一（保税・自社通関・通関、AIR・SEAの業務をひとつのIDで可能）	業務（保税・自社通関・通関）によって利用者IDを使い分けている。	1つの営業所に1つのIDでログインすれば、どの業務も出来るようにしてほしい。	いくつものIDを管理しなくてよい。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-286	その他		申請フォームや輸入許可書等を英語表記か日本語表記のどちらでも出力可能	すべて英語表記のみの出力しか出来ない。承認書や許可書等を海外の取引先からリクエストされるが、日本語しか提供出来ない。	申請フォームや輸入許可書等を英語表記か日本語表記のどちらでも出力可能にしてほしい。	海外の取引先へ共有できる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-287	その他		タブレット端末でNACCS操作の実現。	搬出入時にNACCS端末が近くに無い為、デスクまで確認に行くことがある。	タブレットでNACCS操作が可能とし、現場でもすぐにNACCS操作ができるようにしてほしい。	時間の短縮。現場ですぐに対応することで、NACCS手続きの忘れ防止。	第7次NACCS更改において対応予定
R04-288	その他		クライアント証明書の有効期限をウィンドウの枠に表示するようにしてほしい。	クライアント証明書の有効期限切れが社内ですぐ発生している。更新のアラーム、手続きがやや難しく、更新に失敗するケースがある。	クライアント証明書の有効期限をウィンドウの枠に表示するようにしてほしい。	クライアント証明書の有効期限がウィンドウの枠に表示された場合、利用者に注意喚起を促し、更新の漏れ、失敗を防止することが可能。 NACCSセンター殿へのデジタル証明書再発行の依頼が減少する。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R04-289	その他		検数業者の新規参加	新設・新規追加要望		在来船では船会社は検数業者に書類を手渡ししている LDR (ACL情報) がNACCS送信できれば関係者全てがNACCS参加することとなる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R04-290	その他		通関業者許可事項の登録・修正の業務コード化	・通関業の許可事項の変更は都度税関様式B1140もしくはC9030で申請書を作成し、提出している。 ・自社情報の最新の登録内容は、過去に提出した申請書をとりとまとめ、別途リストで管理している。	左記提出した情報を業務コードで管理しNACCSで ①自社登録情報の閲覧、②許可事項の変更発生時には、当該業務コード内で変更申請、③税関、通関業者双方でダウンロードができる仕様にする。	許可事項は、変更があった内容のみ申請しているため、自社情報の最新の登録内容は別途リストで管理している。NACCS内で最新の登録内容の管理ができれば税関も通関業者の情報管理を一元化・データ化でき、また通関業者側でも管理の簡素化につなげることが可能。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難